WPBC
キン肉マンII世
究極の超人タッグ編
16
週プレ公認
“肉”LOVEアイドル
安田美沙子も
ホンマに好き
やわぁ〜♥
LOVEコメントはカバーそでに!
ゆでたまご
2冊同時発売
KINNIKUMAN 29 ANNIVERSARY
キン肉マン生誕29周年!
最新15巻、16巻
『キン肉マンII世 究極の超人タッグ編』は週刊プレイボーイにて、好評連載中!!
WPBC
キン肉マンII世
究極の超人タッグ編
16
ゆでたまご
集英社
9784088574882
1929979005146
ISBN978-4-08-857488-2
C9979 ¥514E
定価 本体514円+税
雑誌 43420−99
キン肉マンII世
究極の超人タッグ編
16
二回戦Bブロックの最終戦。ウォーズマン&マイケルの“ヘルズ・ベアーズ”vsネプチューンマン&セイウチンの“ヘル・イクスパンションズ”のゴングが鳴らされた! どちらもチーム名に“地獄”を冠し、お互い恐るべき獣性を秘めた超人をパートナーとする、世紀の対戦カード! 序盤は、いきなりセイウチンの獣性がマイケルを圧倒。早くもKO寸前の大ピンチ!?
キン肉マン29周年の軌跡を綴る
超豪華企画が萬載の一冊!
肉萬
〜キン肉マン萬之書〜
普及版
定価2,100円(税込)
★ついに明かされるウォーズマンの壮絶なる過去! 特別描きおろし読切漫画49p収録!
★「ジャンプ」に復活し話題沸騰! キン肉マンの結婚式当日を描いた特別読切漫画50p収録!
★車田正美、高橋陽一、荒木飛呂彦、尾田栄一郎…他、豪華作家陣によるオリジナル超人発表!
…その他、豪華企画満載!
生誕29周年記念出版
新装カバーで緊急発売!!
ゆでたまご
週刊プレイボーイ増刊 生誕29周年『キン肉マン』&『II世』
ファンが選ぶ ベストバウト29!!
定価 500円(税込)
好評発売中!!

WPBC
キン肉マンII世
究極の超人タッグ編
16
ゆでたまご
集英社
9784088574882
1929979005146
ISBN978-4-08-857488-2
C9979 ¥514E
定価 本体514円+税
雑誌 43420−99
16 二回戦Bブロックの最終戦。ウォーズマン&マイケルの"ヘルズ・ベアーズ"vsネプチューンマン&セイウチンの"ヘル・イクスパンションズ"のゴングが鳴らされた！ どちらもチーム名に"地獄"を冠し、お互い恐るべき獣性を秘めた超人をパートナーとする、世紀の対戦カード！ 序盤は、いきなりセイウチンの獣性がマイケルを圧倒。早くもKO寸前の大ピンチ!?

ゆでたまご

（15巻のつづき）気安く引き受けた密着ドキュメントでしたが、あまりに執拗にカメラに追われるため、時々イラっとする時もあり、その瞬間「あーっこういう時か、よく密着物で出演者がスタッフに怒る場面、怒鳴るのは…」と妙に納得。しかし撮影も進んでいくうちに、私たちもいつの間にか、カメラを意識せずに、編集者と打ち合わせしたり、執筆したりできるようになっていきました。かくして、約3ヵ月の撮影を終え、完成した番組を観て驚いたのは、そこには普段の〝ゆでたまご〟のふたりが作品創りしている姿が見事に映し出されていました。ドキュメントは、手間と時間とスタッフの情熱の結晶なんだということがよくわかりました。

SPECIAL GUEST

安田 美沙子

安田美沙子です。キン肉マンが始まった時、私はまだ生まれてませんでした。それから26年、一緒にお仕事ができるなんて嬉しく思います。今年の夏にも週刊プレイボーイさんで一緒に表紙を飾らさせて頂きました。現在キン肉マンは29歳で私と3歳離れてますが、少し頼り無いけど（笑）こんな仲間想いのお兄ちゃんがいたら良いなと思います。私もまだまだ頑張って行くので、キン肉マンも35年、40年って頑張って頂きたいです！　そしてまたいつか共演できたら良いと思ってます。（タレント）

WPBC

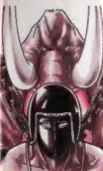
キン肉マンII世

究極の超人タッグ編

16

ゆでたまご

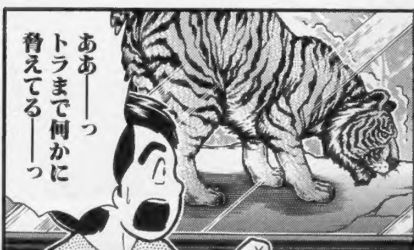
WPBC
キン肉マンII世
究極の超人タッグ編
16
ゆでたまご

集英社

集英社

He is Fighting Computer
キン肉マンII世
にく
16
究極の超人タッグ編
ゆでたまご

CONTENTS

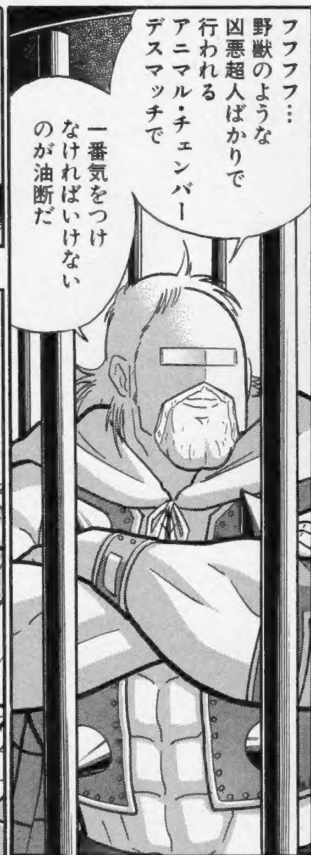
あ――っと
アニマル・チェンバー（野獣の檻）デスマッチ

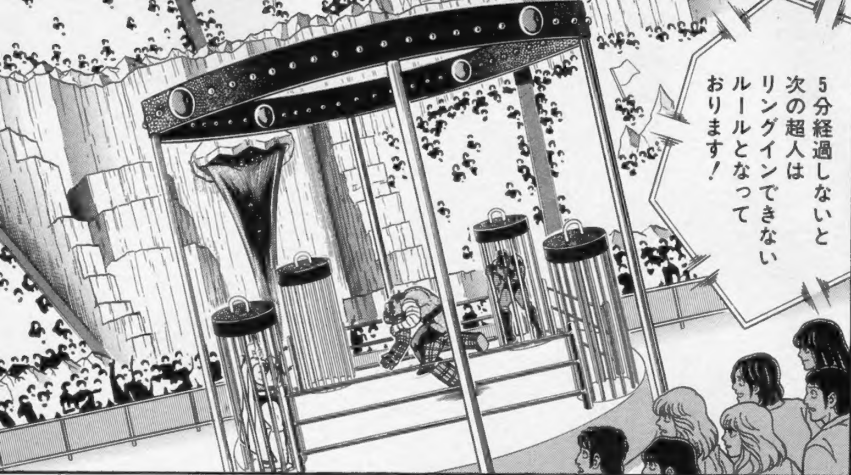
第167話 むき出しっ！マイケルの獣性!!

クウウ〜〜〜ン

ふたり目にリングインしたセイウチンが先にリングインしているマイケルの背後から襲いかかる――っ！

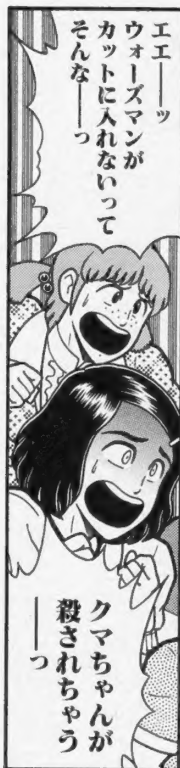
イヤァァァーーーッ
クマちゃんが
あんなに
血まみれにーーっ

早く早く
ウォーズマン
カットに入って
ーーっ

BON

あーーっと
ヘルズ・ベアーズ
マイケルファンの
女のコの絶叫が
こだましますが

これは通常のタッグ
マッチルールではなく
時間差アニマル・チェンバー
デスマッチ！

5分経過しないと
次の超人は
リングインできない
ルールとなって
おります！

しかも5分経って
ルーレットランプが

マイケルのパートナー
ウォーズマンに
止まればよいですが…

エエ――ッ
ウォーズマンが
カットに入れないって
そんな――っ

あくまで
ランダムですので

ボキ
ボキ

ルーレットランプが
セイウチンの
パートナー
ネプチューンマンに
止まった場合は

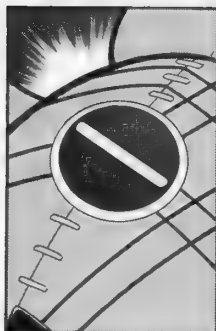
逆にふたりがかりで
やられるという
最悪の事態も
考えられるワケで
あります

クマちゃんが
殺されちゃう
――っ

このアニマル・チェンバーデスマッチという試合方法はタッグチームとしてのコンビネーションも大切ですが
タッグチームをバラした時の個人個人も強靱なタフさを持ち合わせていなくてはなりません
にく
まさにこのリングはアフリカのサバンナ…獣性No.1を決めるに
ふさわしい舞台だ!
お…おわぁぁ〜っ
ボ…ボクにはとてもできないかも

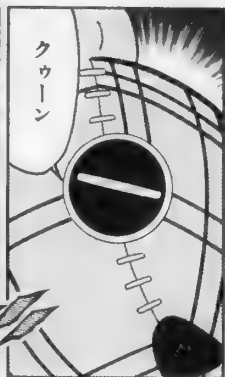
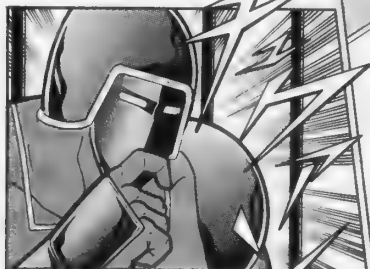
同じ21世紀からタイムスリップしてきた仲間のジェイドやスカーフェイスの顔の皮を剥ぎ…
そしてまた今のリング上の凶行を見ていると…もうあの頃のセイウチンのことは思い出せない…
も…もはや私たちの知ってるセイウチンではないのね…

セイウチン
マイケルの血を
吸っている〜〜っ
チュ
チュ

2分経過!
2分経過!
!
は…早く
ウォーズマン
入ってきて
クマちゃんを
助けてあげて
まだ5分
経たないの
〜〜っ!
クワアアーーッ
マイケル
あーーっと
セイウチン
牙を突き立てんと
大口をひろげる
ーーっ!
ウォーズマン

グアアーーッ
…………
あーーっとマイケル
咄嗟に自分の頭を
胴体にもぐり込ませ
セイウチンの噛みつき
から逃れたーーっ
ズ
ボォ
クゥーーン

グウゥーーン
グガ…
そして再びすぐに頭を突き出しセイウチンの顔面にヘッドバットーーッ
ズガァ
ぐらつくセイウチンだがマイケルの胴に両足をしっかり絡めて
リングに落ちまいと踏ん張るーーっ
クゥーン
そのセイウチンの両足めがけ今度はマイケルヒジ打ちの連打だーーっ

たまらずセイウチン両足のロックをはずす――っ

グラッ

だがマイケルもセイウチンの両足を取った――っ

クウーーン

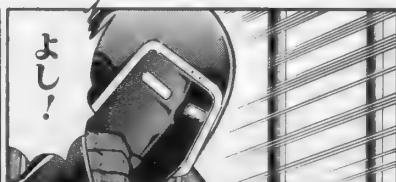
そのままジャイアントスウィングで振り回し…

クウーーン

空中に投げ飛ばす――っ

クウーーン

すぐさま 空中でセイウチンの体をキャッチすると

高低差のある ノーザンライト スープレックスで キャンバスに叩き つけた——っ
クォオーーン
よし！
あ——っと ヘルズ・ベアーズ マイケル 秒殺の 危機から一気に 形勢逆転——っ
キャアァ——ッ マイケル 心配させないで——っ
やりおるのう あのヌイグルミ
セイちゃんよ——っ オレはな〜んにも 心配してないからな

攻撃の手を緩めず
さらに容赦ない
強烈なまわし蹴りを
放つ———っ!

ゴガア…

クゥーーン！

グガッ

続いてマイケル
セントーーンを
セイウチンの体に
浴びせる――っ

マイケル！
マイケル！
イケル
IGH
マイケル！

セ…
セイウチン
！

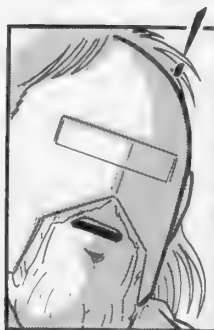
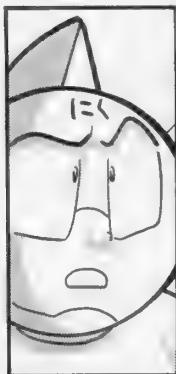
フ…フン
ネプチューンマン
なんかと組んで

友を殺める(あや)から
バチが当たるんだ！

クチュ
クゥーン！
ゴガ
あ――っと
マイケル なおも
セイウチンの体に
強烈なストンピングを
叩き込む――っ
！
！

クウーーン！
クウーーン！

クウーーン！

マイケル
確実に
急所という急所に
全て正確に蹴り
込んでいる――っ！

クウ〜〜ッ
グチュ
グチュ
ズボ
ズボ
マイケル
両手から鋭い
爪をむき出し
にして…
ズゴゴ
セイウチンの体を
リフトアップ
——ッ!!

グウウーーン
ドドドド
あのクマ公セイウチンを鉄柱にぶつけるつもりだーーっ
グウーーン！

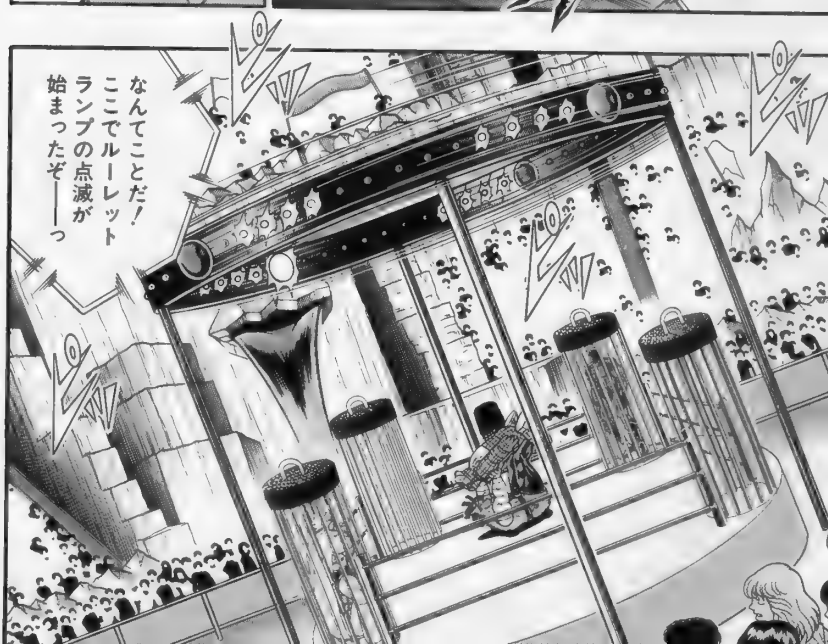
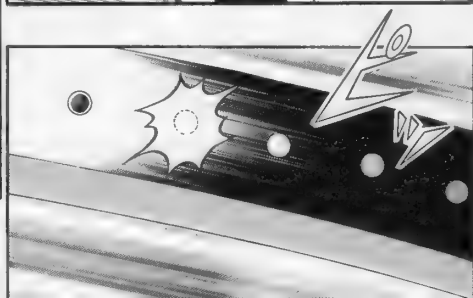
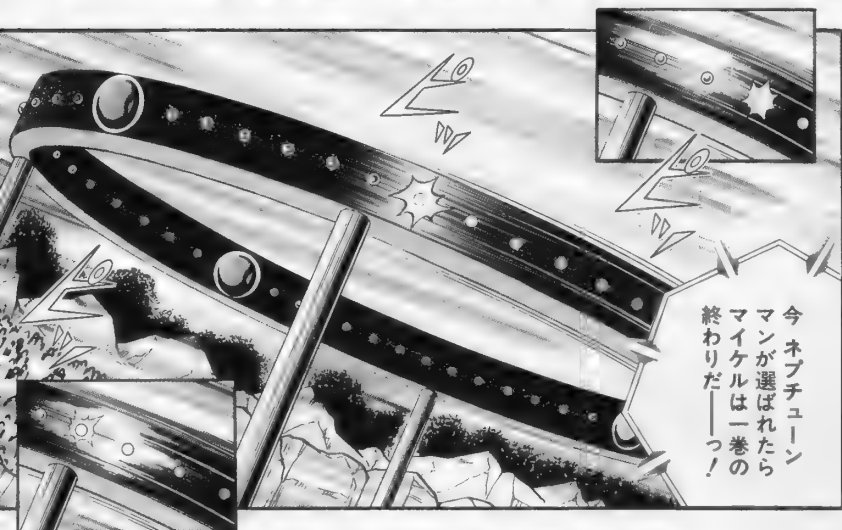
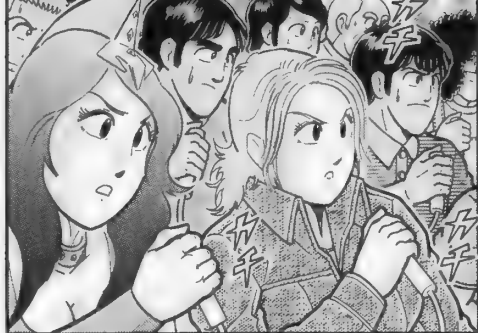
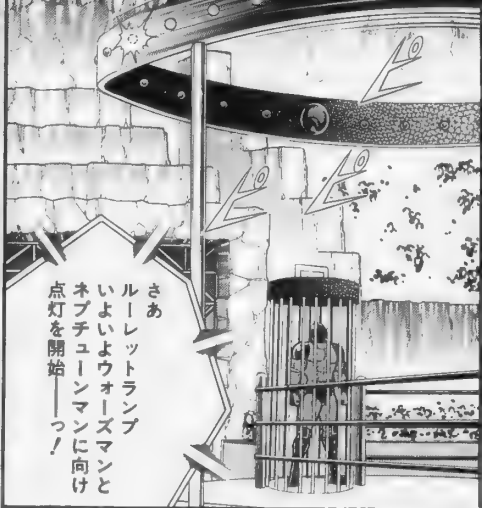
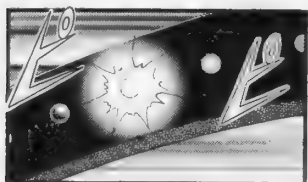
おっとマイケル急にキャンバスに降り立ち…

ズン・・

何気ないボディスラムでセイウチンを叩きつける——っ

ガキ
グロロ
グゥ
セイウチン マイケルの
一瞬のスキを逃さず
あっという間にマイケルを
宙に浮かせる！
ドドドド
グッワラアー―ッ
そして そのまま
うつ伏せの体勢で
落下してくる――っ！
ドド
あ――っと
セイウチンの体の
無数の突起が
一斉に前方へ突き出て
マイケルの体を
ふっとばした――っ
クゥーン

グゴ〜〜〜ッ
キャアアーーッ
マイケルのボディにセイウチンの両ヒザがくい込む――っ!
5分経過――っ
5分経過――っ
グイ
なんてことだ!ここでルーレットランプの点滅が始まったぞ――っ

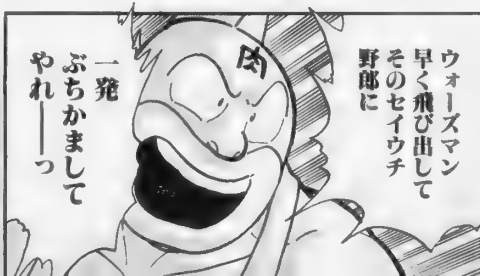
ピ
ピ
ピ
今 ネプチューンマンが選ばれたらマイケルは一巻の終わりだ――っ!

ピ
ピ
ピ
さあ
ルーレットランプ
いよいよウォーズマンと
ネプチューンマンに向け
点灯を開始───っ！

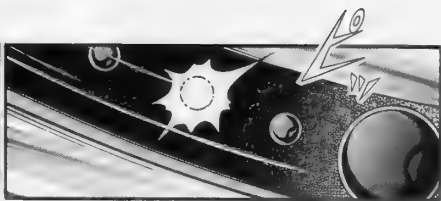
ワァァ

ピ
ピ

ピ
ピ
果たして運命の
ルーレットランプは
ヘルズ・ベアーズと
ヘル・イクスパンションズ
どちらに
味方するのか───!?
ピ

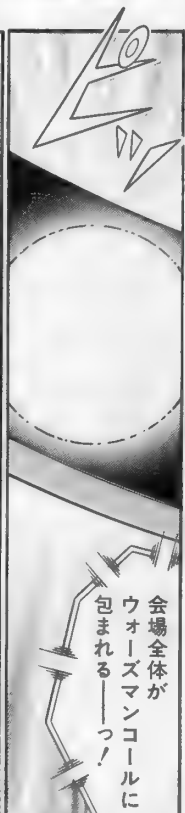
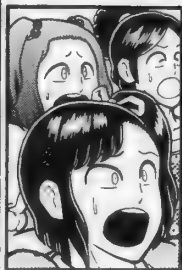
さぁ〜〜っ
ルーレットランプが
どんどん速度を落として
ウォーズマンの
チェンバーに向かって
いる——っ!

第168話「悪夢の5分間」

会場全体がウォーズマンコールに包まれる——っ！

さあルーレットランプが今 ウォーズマンの頭上に…

い…いや止まらない観客の願いむなしくルーレットランプは

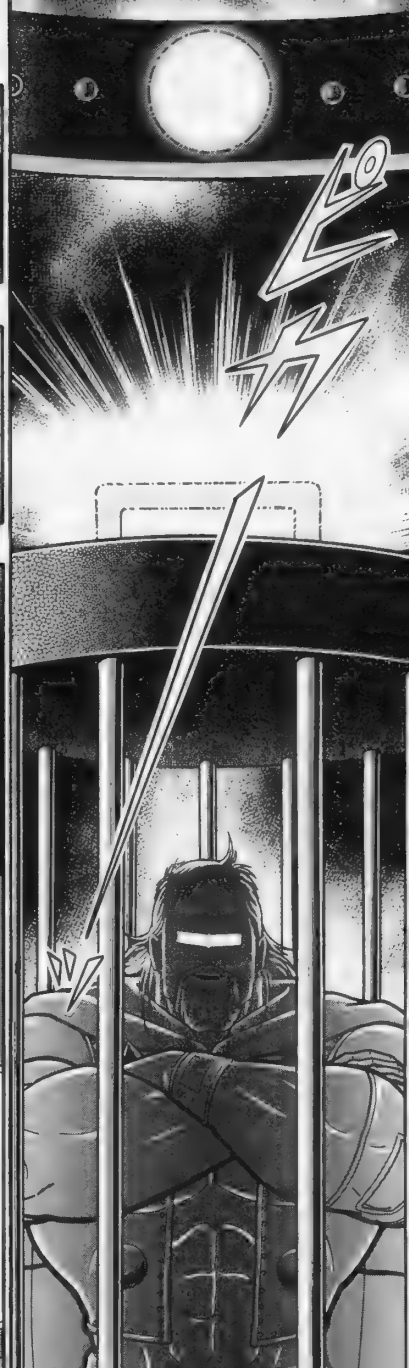
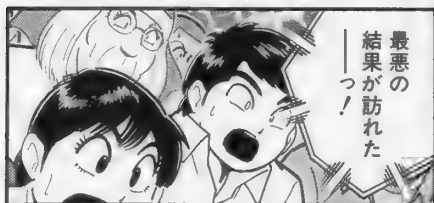
その頭上を通過していった——っ！

ま…まさか…

そ…そんなぁ〜〜〜っ

ルーレットランプの光は幸運にも
グラララ…
オレたちヘル・イクスパンションズに射してきたようだ

ああーっと
ヘルズ・ベアーズに
とっては

最悪の
結果が訪れた
――っ!

なんと ルーレット
ランプによって
選ばれた3人目の超人は
ウォーズマンではなく…

ヘル・イクスパンションズ ネプチューンマンだ——っ！

240cm 210kg〜〜〜ッ ネプチューン マーン〜〜！

ナンバー—— ワ——ン！

あ——っと ネプチューンマンの マントの裏地には

その後正義超人なんてものに心変わりをしてしまったがために

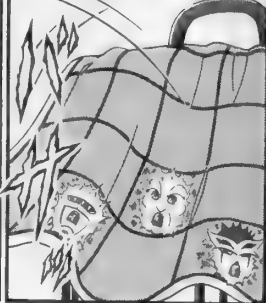
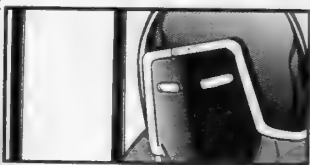
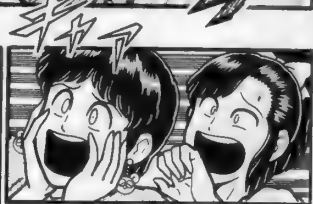
その贅を極めたコレクションを手離すことになってしまったが…

もう迷いはねえこのマントに昔以上の…

強豪正義超人どものコレクションを集めてやるぜ——っ!

バサッ

さあヘル・イクスパンションズリーダーのネプチューンマン百獣の王ライオンのごとく金髪をふり乱し猛々しくリングイン〜〜〜ッ!

ヘルズ・ベアーズよ
おまえたちは
ツキに見離された
ようだ——っ！

ネプチューンマン
マイケルの背中に
エルボードロップを
放つ——っ！

なんせ敵パートナーの救助を一切気にせず…

相手を思いきり痛めつけられるんだからな――っ!

ふたりがかりでよってたかって…クマちゃんがかわいそう!

かわいそうだけどこのアニマル・チェンバーデスマッチはそういうルールなんだ

ルーレットランプが選び出した順にしかリングインできない

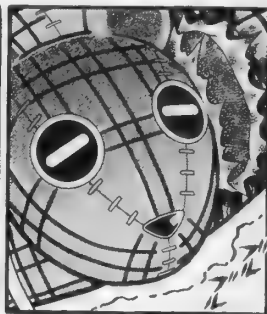
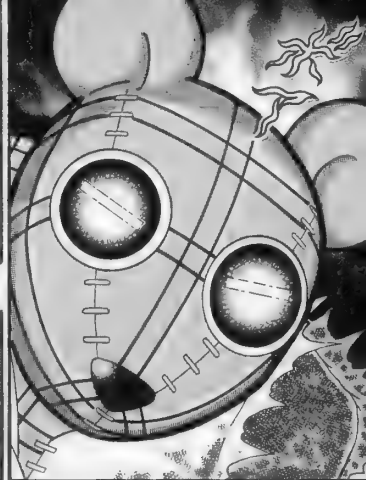
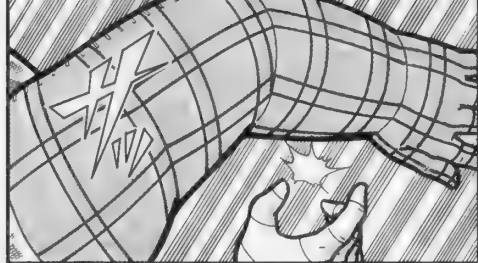
グバーーッ

ネプチューンマン
今度はギロチンドロップで落下——っ!

ウォーズマンよ
お互い野獣をパートナーとしてこの〝究極の超人タッグ戦〟に挑んだわけだが…

ネプチューンマン
マイケルの胴体を両断せんと さらに体重の乗ったギロチンドロップを落とす——っ

その獣性においてはセイウチンのほうが勝っていたようだな

ザッ
ザッ
!

クオオーーン！
グワッ
グァ
キャアア
ズン
マイケル 反撃！
お返しの
エルボードロップを
ネプチューンマン
めがけて打つ――っ

クワガアーーッ
ズバ
しかし強烈な
胴体タックルで
セイウチン これを
カットーーーッ
ズゥン
よく
やったーーっ
セイちゃん！
さあ〜〜っ
セイウチンに
逆さにかかえ上げられ
ピンチのマイケル
ーーっ！
だ…だめだわ
いくらクマちゃんが
頑張っても
ふたりがかりでは
どうにもならないわ
は…早く
ウォーズマン
出てきてーーっ

バアア

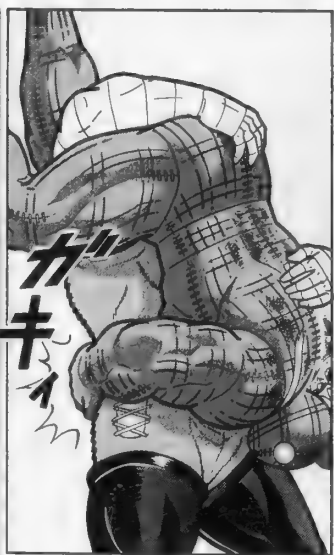
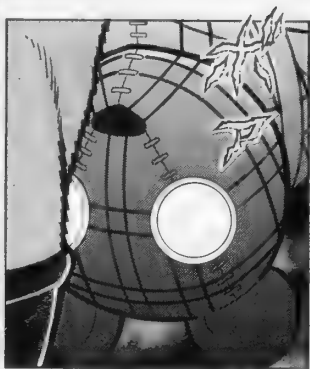
マイケルの背中めがけドロップキックを突き刺すつもりだ――っ

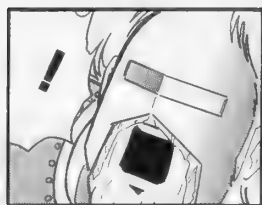
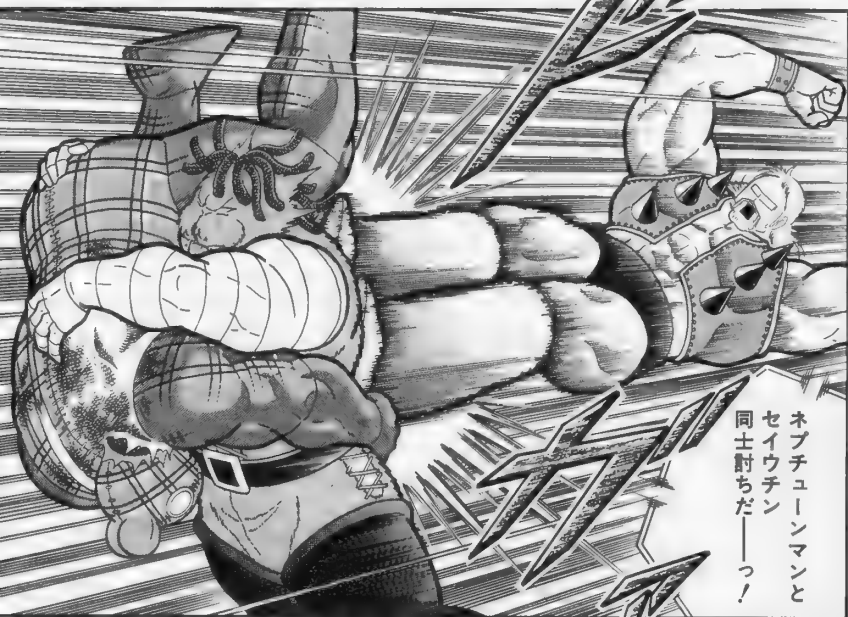
やめなさいよ――っ
さっきの攻撃でクマちゃんの背中は血まみれなのよ――っ

グフフフ～～ッ
おまえたちの悲鳴や涙がオレたち完璧超人(パーフェクト)のパワーの源よ～～っ

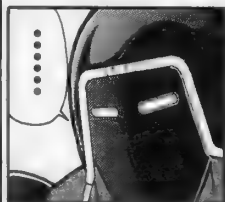
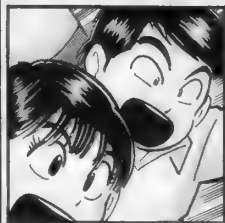
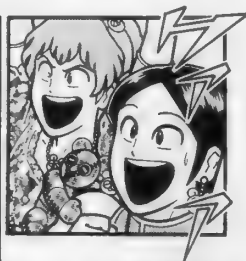
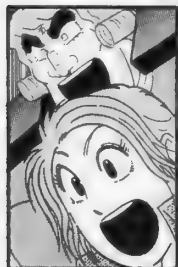
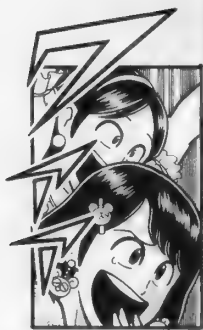
モリ

モリ

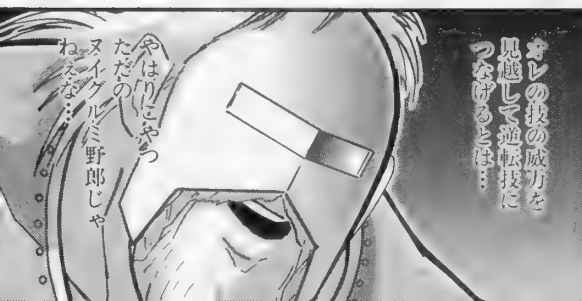
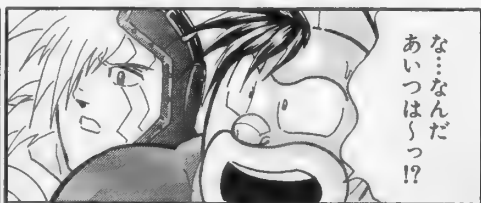
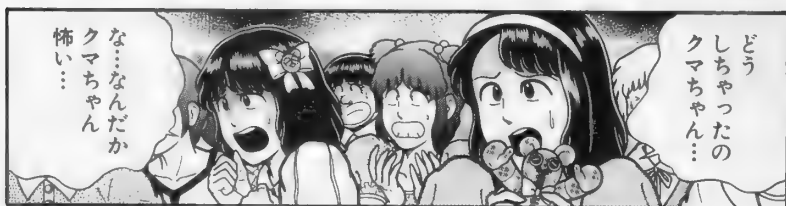
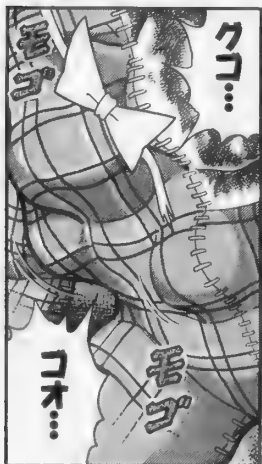
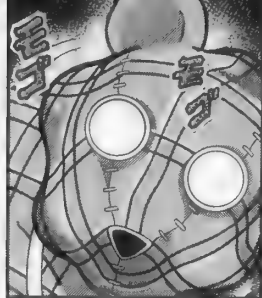
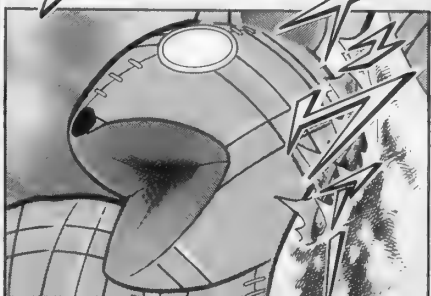
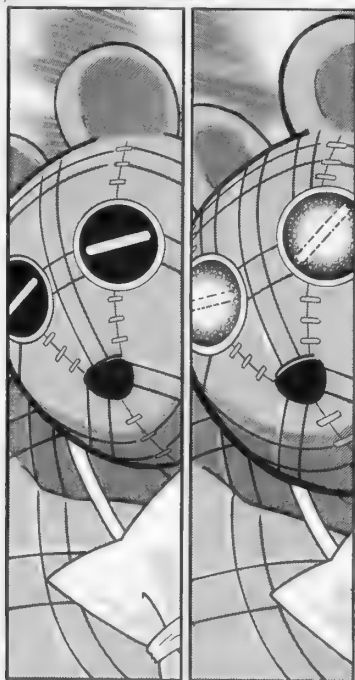
ガキィ

グル
あーーっと
マイケル 咄嗟に
セイウチンの背中を
ネプチューンマンの方向へ
向けさせたーーっ

グロロ～ッ

な…なんたる
腕力と体幹の
強さ——っ！
！
ネプチューンマンと
セイウチン
同士討ちだ——っ！
グロ…
お——っと
マイケルを
抱き上げている
セイウチンの体を
反転させるほどの
威力——っ

しかしそれが
マイケルに
好機を与える
結果となった——っ

クオオーーン

……

マイケル
ツームストンボムの
逆転技――っ!

グ…グウウ〜ッ

グギョア〜〜〜ッ
や…やはり
オレの予想どおり
あいつは…
キュイ〜〜ン
キュイ〜〜ン

そっちがその気ならかまやしねえ

その化けの皮をこのオレが剝いでやるぜ！

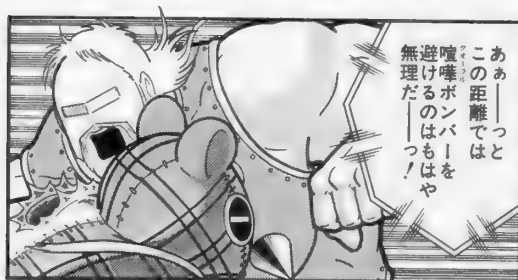
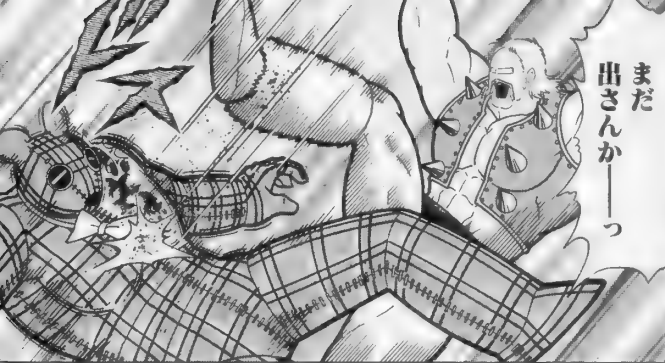
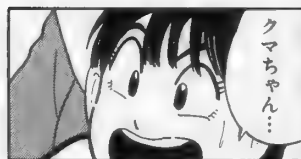
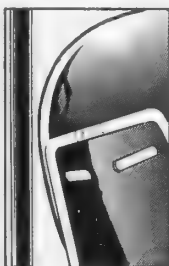
ネプチューンマンといえば
顔剝ぎのクロスボンバーが
有名ですが

この単体での
喧嘩ボンバーも
あらゆる角度より
仕掛けられる恐ろしい
破壊力を持った技で
あります！

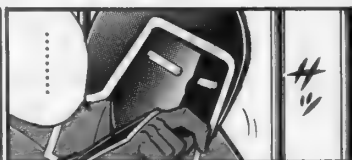
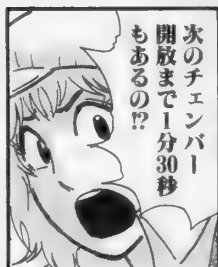
第169話 封印された獣性！

ウォーズマンの
指笛が

マイケル本来の
獣性をコントロール
しているんだろうが

クウーーン

しかし
目にも止まらぬ
凄まじいスピードで
スウェーバックして
それをかわす——っ!

まだ出さんか──っ
グゥ…
そうら〜〜っ
無理するな〜〜っ
血が大好きなんだろ〜〜っ
ネプチューンマン
マイケルの顔にセイウチンの血をなすりつける──っ
グ
グ
血の赤を見血の鉄くせえ香りを嗅ぎ
凶暴な野性の本能ってやつが呼び起こされるはずだぜ
クマちゃん…
グッ…
現れたか〜〜っ
血を見たが最後対戦相手のギブアップもきかずに
破壊の限りを尽くす人の道にはずれた獣の心が〜〜っ

クウーーン
な…
オラ!
オラ!
ヌウウーーッ
グイ
あーーっと
ネプチューンマン
情け容赦ない
チョップの乱れ打ちを
マイケルの顔面に
叩き込むーーっ
こんなひどい
攻撃を受けて
本来の性を
出せねえやつは
いねーーぜ!
クマ
ちゃーん!

ググ〜〜〜ッ
グフフフきたな〜〜〜っ
そうだろ〜っここまでやられてだまってられねぇはずだ〜〜〜っ

サッ
……
!

いつまで
いいコちゃんぶって
やがるんだ——っ

ネプチューンマン
ジャンピング・ニー
パットを顔面に突き
刺す——っ!

セイウチン!

グロウラ
——ッ

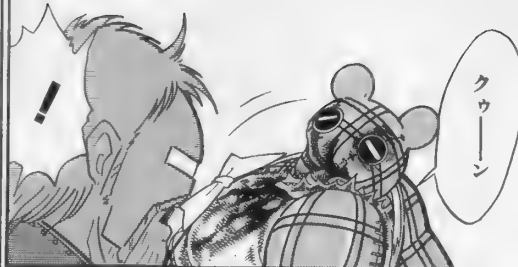
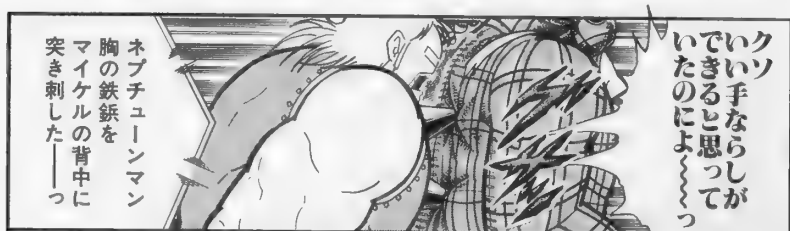
あ——っと
セイウチン まるで
海を泳ぐように
マット上を滑って
いく——っ

そして
ダウン寸前の
マイケルの足首に
鋭いアゴで
かぶりつく——っ

ギュゴ———ッ

マイケルよ〜〜っ
その生き地獄から逃れる
簡単な方法があるぜ〜〜っ

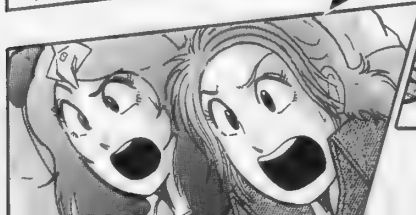
そうだよ
おまえの本来の性を
出せば容易なことだ〜っ

ホラどうした〜〜っ
おまえの獣性は
セイウチンと
五分にわたりあえる
ほどのはずだ〜っ

とんだオレの見込み違いだったぜ——っ!

そしてそのまま両足をキャッチしてマイケルの体を

ググッ

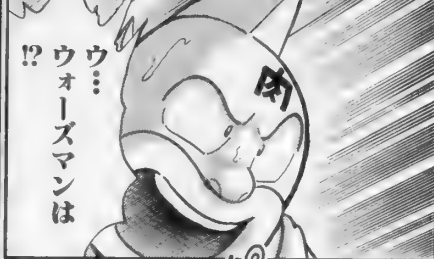
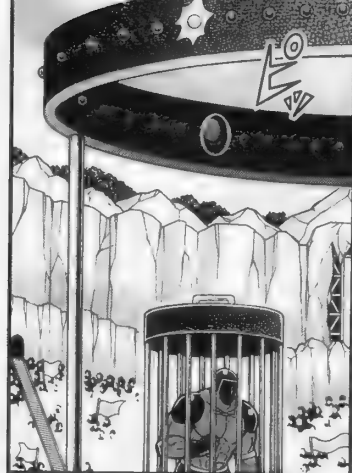
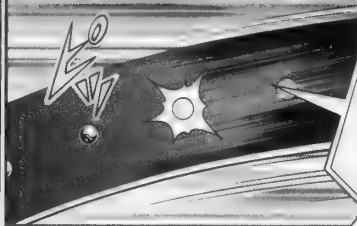
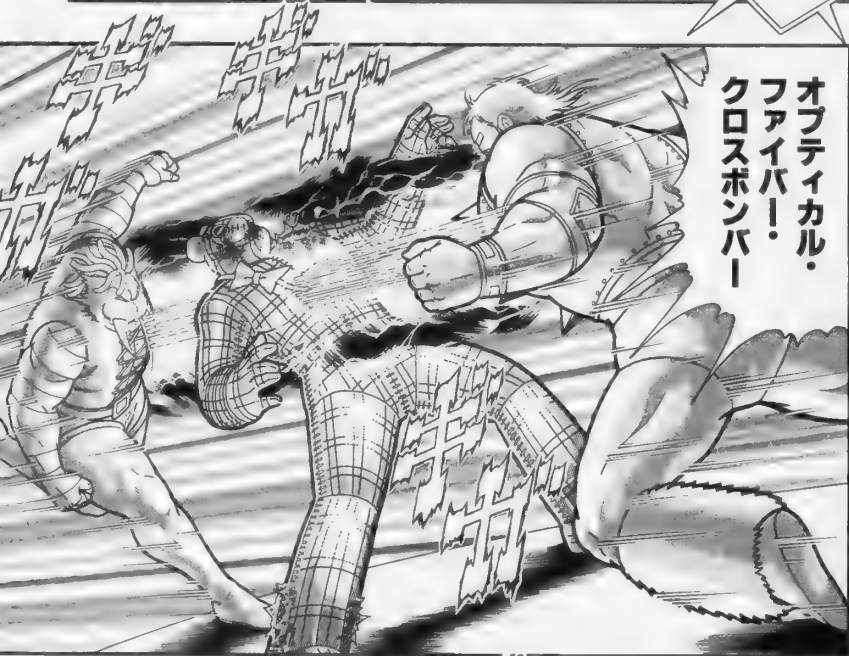
ダブルレッグスープレックス──ッ!
後方へと投げた──っ
グガ…
グラ
ズ
あ──っと一撃でピクリともしなくなったぞマイケル──ッ

4分経過〜〜〜っ
4分経過〜〜〜っ
ラストチェンバー開放まで残り1分〜っ
ま…まだ1分も…
……
セイちゃんよ このマイケルって超人とんだくわせものだったな
完璧超人(パーフェクト)のオレたちがただの下等超人に9分かかるとは時間をかけすぎた…
やるかあれを
グロロ〜〜〜ッ
い…いけないぞ ヘル・イクスパンションズはあれをやるつもりだ
ウン そうらしいね!

クワガァーーッ
セイウチン
ダウンする
マイケルをくわえ
無理やり立たせる

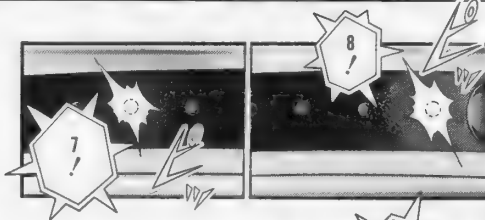
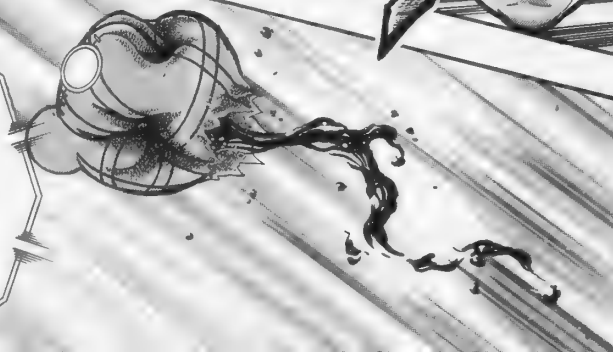
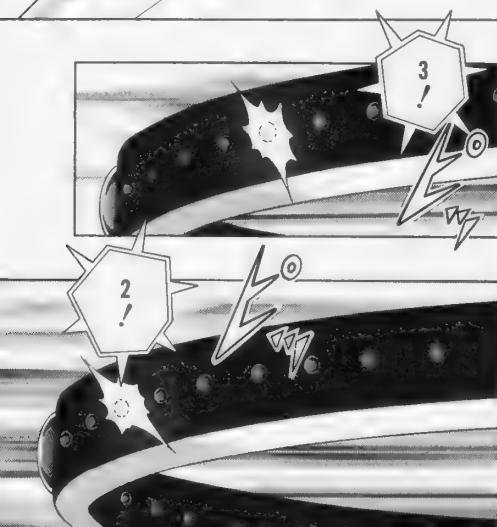
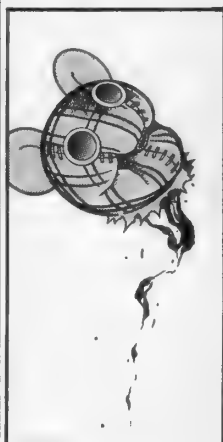
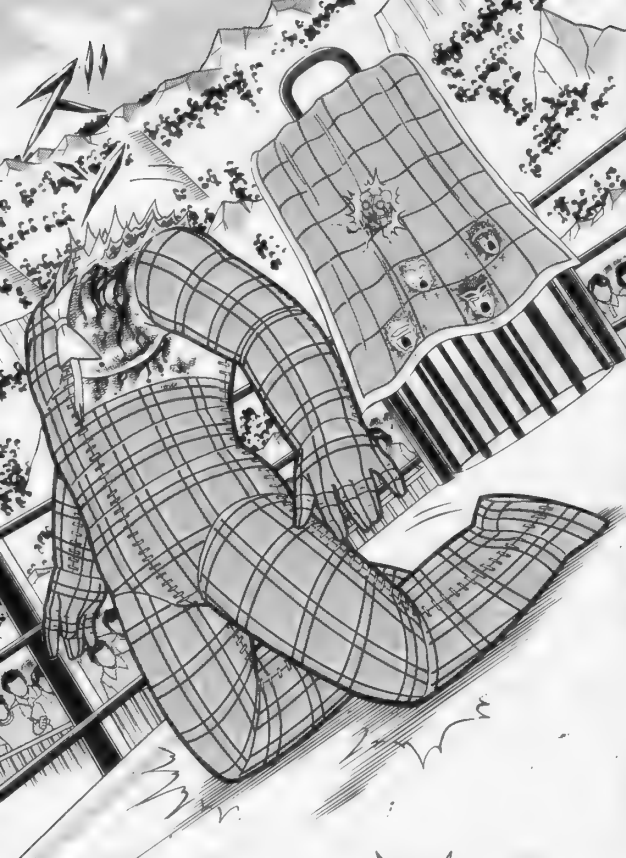
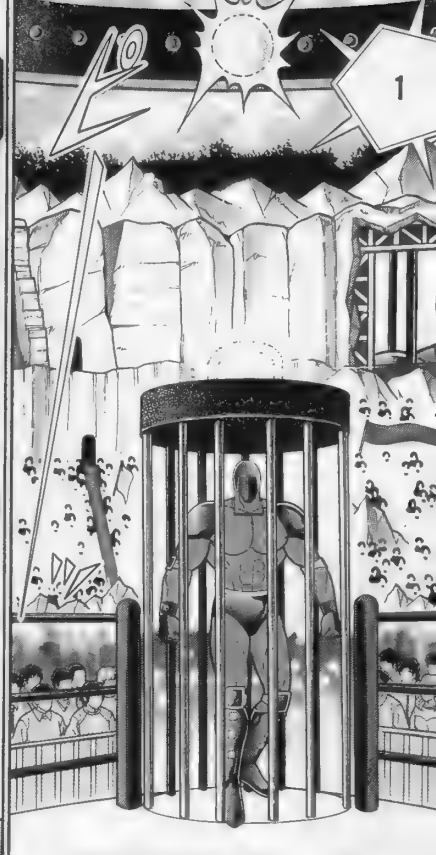
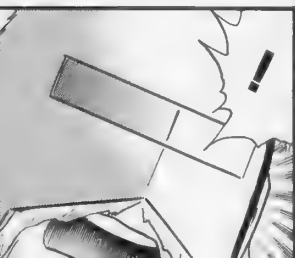
こんなに近くにいる
パートナーを
助けられないとは…
このアニマル・
チェンバー
デスマッチは
どこまでも残酷な
試合方法だぜ

グロワーーッ

やつらオプティカル・
ファイバー・クロス
ボンバーで
マイケルの顔を
剝ぐつもりだ
——っ

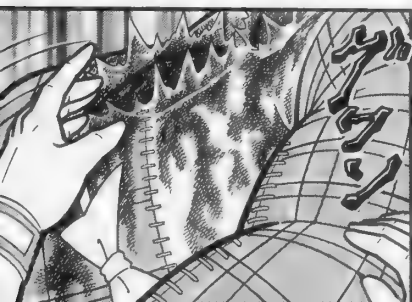
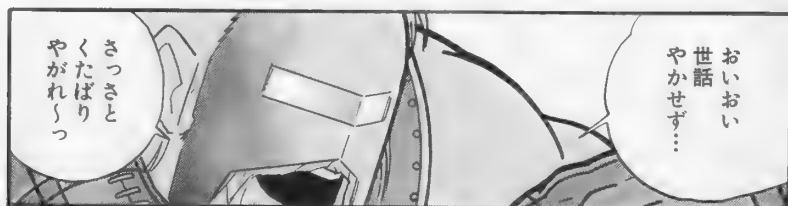
オレが
21世紀の
ドーバー海峡で
手に入れた
光ファイバー
パワー
ネプチューンマンの
左腕より無数の
光の管が!!

光の管が
マイケルの体を
透過──っ

ラストチェンバー開放まであと20秒!
オプティカル・ファイバー!・クロスボンバー
残り10秒!
早く!早く!
8!
7!
6!

スリヤラァ——ッ
ドゴオ
あ——っとウォーズマンのチェンバーが開く前にクロスボンバーが決まった——っ

マ…
マイケル…
3!
ピッ
2!
ピッ

あ——っと
ラストリングイン超人
ウォーズマンの
アニマル・チェンバーが
今ようやく開いた——っ

クロロ
しかもウォーズマン
セイウチンの不意
打ちのローリング
ソバットをくらって
しまう――っ!
ガッキ
さらに脇固めで
キャンバスに
這いつくばらされた
――っ
フハハハハハ
こいつはヘルズ・
ベアーズにとっては
負の連鎖が続く
状態だな
!

ゲエ…マイケルの首無しの体が！

あ あ

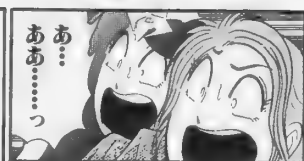
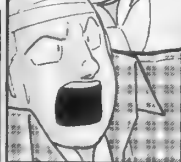
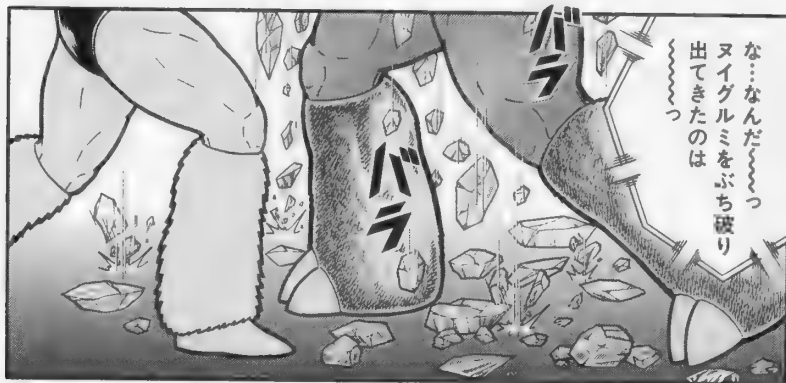
ズガッ

末期の攻撃ってやつか～～～っ

グ…グオオ〜ッ
な…なんだ〜〜っ
末期のはずなのに
このパワーは〜〜〜⁉
ウワァァァァァワァァ

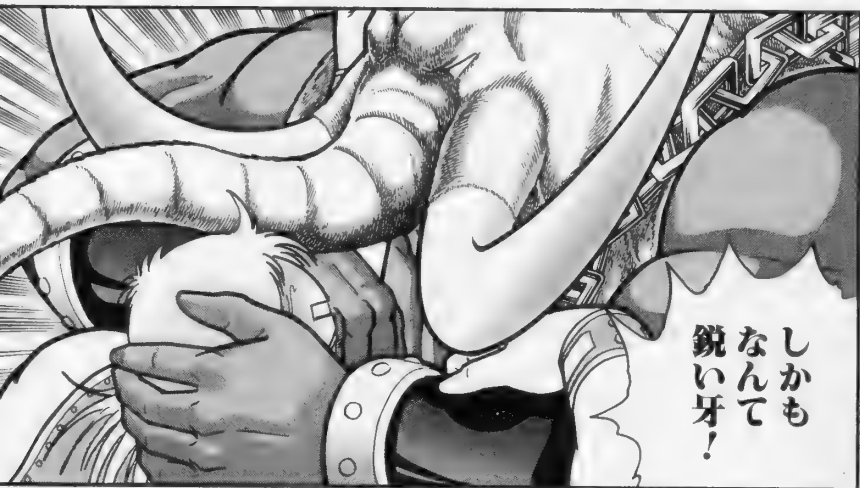
ロビンマスク
ビッグ・ザ・武道
ジェイドら
過去 未来 あらゆる
強豪超人のパワーを

第170話 今、明かされる"マイケル"の正体！

ものともしなかった
ネプチューンマンの
"審判のロックアップ"が
脅かされようと
している〜〜〜っ！

おわぁ――っ
うわぁ――っ
何これ？
ひやっこ～～っ
これは
氷のかけらだ

あ…
ああ……っ
おおっ
ウワァ〜〜〜ッ

な…なんだ〜〜〜っ
ヌイグルミをぶち破り
出てきたのは
〜〜〜っ
バラ
バラ

バラ
大地を
揺るがさん
ばかりの…
バラ
バラ

この世のものとは
思えぬ巨大な
生物だーーーっ!
ブオオ

しかもなんて鋭い牙！

グフフフ…
組合わせ抽選会以来
オレが感じていた
マイケルという超人への
違和感は確かだった…
やはり正体は
おまえだったか!
パオオ〜〜〜ッ
グオオ
あ…ああ〜〜っ
ネプチューンマンが
対戦相手の実力を
推し量るために使っている
〝審判のロックアップ〟なのに〜〜っ
グ…
グゥ〜ム

逆に
ネプチューンマンが
新型マイケルに
そのパワーを
推し量られるかのごとく
圧倒されていく――っ

グゥ…

プオッ！

ガゴーン

プオッ！

グオッ…

首相撲で引き寄せ
ネプチューンマンの
ボディにヒザ蹴りの
連打──っ！

ガゴーン

ガゴーン

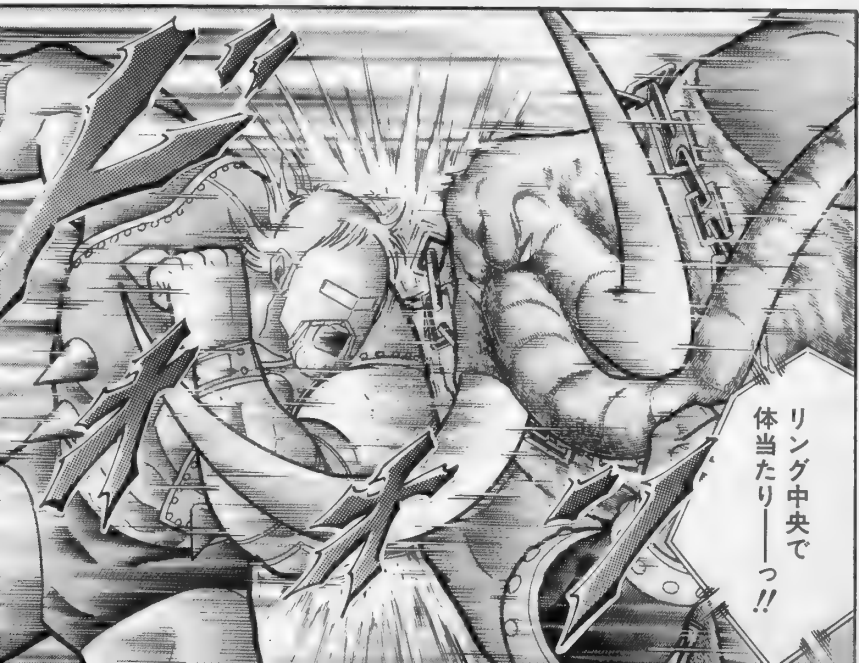
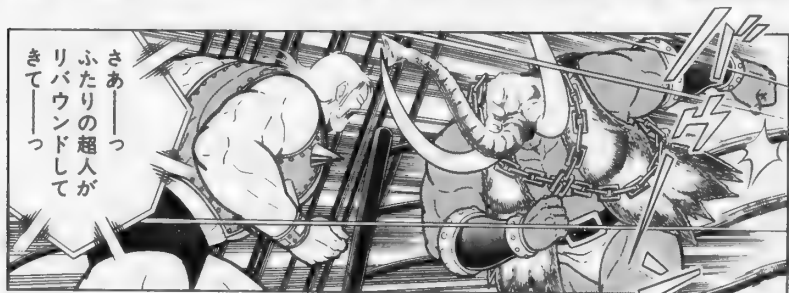
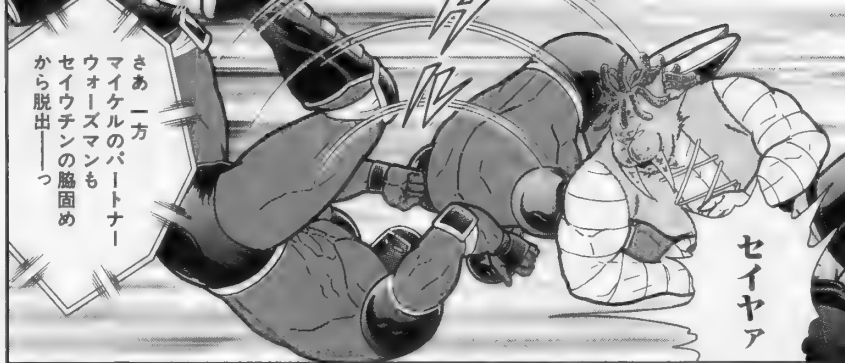
グハッ

おーっと
ネプチューンマン
これはかなり
効いてるようだ

クルル…

グイ

バオワァーーッ

リング中央で
体当たり――っ!!

ただ走るだけで
地震が起こったかのように
リングが揺れるーーっ!

ジャンピング・ニーバット！
タァ
ビッグフーツ！
グオ
ガ
おーーっと
お互いの技と技が
正面衝突ーーっ
ゴオオ
グフフフ
手応えあり
だぜ〜〜っ！

グギャコォ――!

セイウチン すかさず
ウォーズマンの脇腹
めがけて噛みつきに
かかる――っ

!

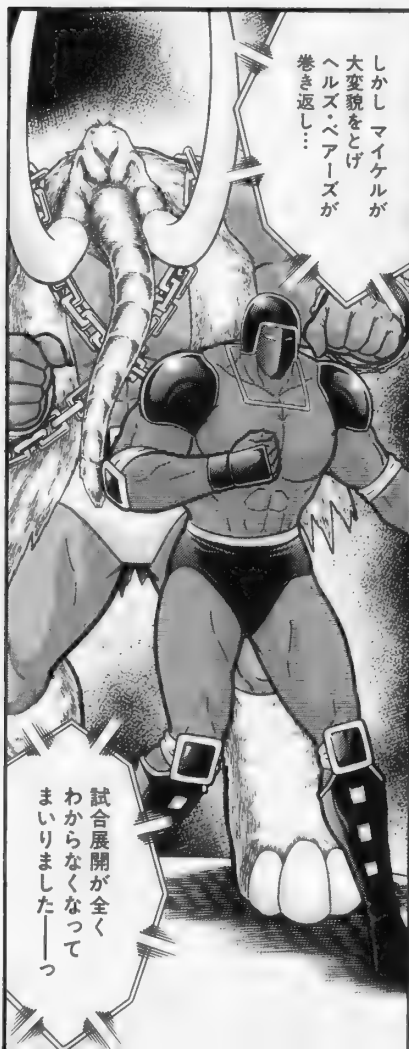
リャ――ッ!

しかしウォーズマン
素早く察知し
よけた――っ

シャワアーーッ
ウォーズマン マイケルの体の前面を素早く駆け上がる――っ
ズル

そして巨大な牙より滑りおり…
スリャーーーッ
加速をつけてセイウチンの顔面にドロップキック――ッ

序盤はコンビネーションの良さとルーレットランプの運にもめぐまれ

ヘル・イクスパンションズが圧倒的リードをしてきました

しかし マイケルが大変貌をとげヘルズ・ベアーズが巻き返し…

試合展開が全くわからなくなってまいりました──っ

グフフフ…セイちゃんよ〜っ
オレが超人としての
生き甲斐を感じる瞬間は
とてつもなく
強ぇぇ相手を
目の前にした
時だ!
もう すぐにでも
"顔"を剝ぎたくて
たまらなくなる!
特にこいつはオレの
"顔剝ぎコレクション"の
中にくわえたくて
仕方がねぇ逸品だ!

なあ
マンモスマン!
ザッ

マンモスマン

マンモスマン

エエ———ッ
マイケルじゃなくて
ネプチューンマンのやつ
マンモスマンって
今はっきり
そう言ったな
誰じゃ それ〜〜〜っ
古今東西の
超人のことは
あらかた知っている
ミーも心当たりの
ない超人だ!

ねぇねぇ
カオス〜〜〜ッ
伝説超人たちも
あのマンモスマンて超人のことは全く知らないみたいだけど
あんた知ってる？
ウ〜〜〜ン さすがの超人オタクのこのアチキでも
マンモスマンなんて超人は見たことも聞いたこともないな〜〜〜っ

ウ〜〜〜ン
アホのあんたがいくら考えても屁のつっぱりにもならないから
そう そう
…マ…マンモスマンは超有名超人です
にく
しかも20世紀の超人の歴史の中でも悪魔将軍らと並ぶ実力派超人ですよ

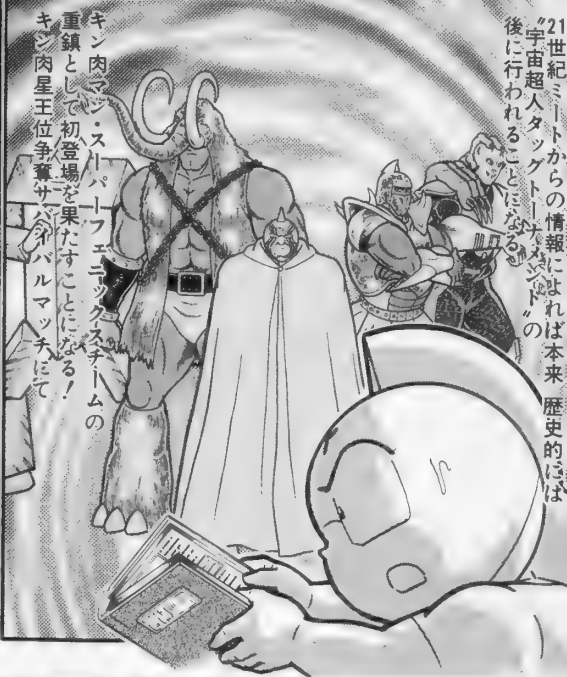
エエッ
そんなに有名な超人なのに
なんで伝説超人はじめ超人たちが知らないわけですの？

ああっ
思い出した〜〜〜っ

ヘラクレス・ファクトリーでの
歴史の時間で20世紀最強の
悪行超人は誰かって
講義があったんだけど

悪魔将軍
マンモスマン

悪魔将軍も強いが
もしかしたら
マンモスかもっていう
説があったんだ！

〝21世紀ミートからの情報によれば本来 歴史的には
〝宇宙超人タッグトーナメント〟の
後に行われることになる
キン肉マン・スーパーフェニックスチームの
重鎮として初登場を果たすことになる！
キン肉星王位争奪サバイバルマッチにて

この超人の歴史を全て
網羅している
〝宇宙超人大全〟によれば

キン肉星王位争奪
サバイバルマッチ
一回戦において
キン肉マン・スーパー
フェニックス（知性）
チームの重鎮として
初登場を果たした
マンモスマンはいきなり
キン肉マン・ビッグボディー
（強力）チームの先鋒
ペンチマンを秒殺！

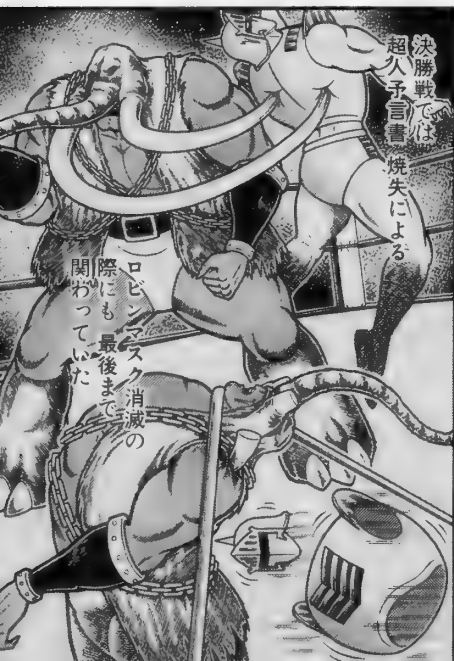
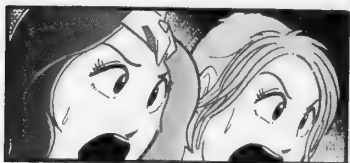
その後も
公式戦ではないが
竹やぶで
ウォーズマンを倒し…

エ

エ

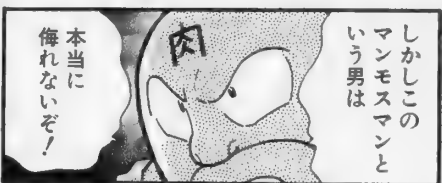
人呼んで"超人破壊師(デストロイヤー)"!

にく

二律背反(にりつはいはん)する性質…
獣性と知性をあわせ持つ超人がマンモスマンなのです!

第171話 "正義超人"マンモスマン!
これが超人破壊師マンモスマンについての全てです
獣性と知性をあわせ持つ負け知らずの超人なんて〜っ
にく
こ…この先の近い未来にオレたちが遭遇することになるこのマンモスマン
ウォーズマンやロビンマスクも破ることになる超人なんて…
スグルさまこれは大変な事態ですわ
フン!
肉

あんなインチキ野郎どもに
寝返ったミートなんかの言うことなど信用できるか
ちょい待ち！
しかしこのマンモスマンという男は
本当に侮れないぞ！
にく

伝説の〝キン肉星王位争奪サバイバルマッチ〟のことはさすがのボクでも聞いたことあるけど…
…なんで未来で父上たちと戦うことになる
キン肉マン・スーパーフェニックスチームの重鎮マンモスマンがわざわざ前倒しでこの時代に出現してきたのさ———っ!?

そうだ しかも正義超人ウォーズマンのパートナーとして！
そ…それは…ウーン？
にく
グ〜〜ファ〜〜

オレにはようく
わかるぜ〜〜っ
なにせオレはその
“キン肉星王位争奪
サバイバルマッチ”に
キン肉マンチームの
助っ人として加わり
そこにいる
マンモスマンと肌を合わせ
やつの強さは体感して
いる……

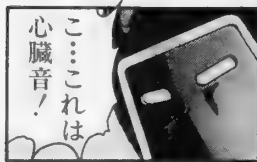
若く意気軒昂で
獣性と知性を
あわせ持つ
まだ
この時代に
誰も見ぬ
“未知の強豪”

そこで浮かんだのが
マンモスマンだ

その時代の
マンモスマンなら
まだ知性の神
キン肉マン・スーパー
フェニックスによって
悪行の世界に
引き込まれる前の
正邪の区別がない
無垢な存在

エエ
そ…それじゃあ
ネプチューンマンと同じく
ウォーズマンも
ボクたちの
タイムシップに密航して
21世紀から20世紀に
やってきたの———っ⁉
グフフフ…
そうよ こいつも
オレと同じ穴の
ムジナよ…
そうかくくっ
だから 21世紀
ミートくんは
あの時
タイムシップの積載重量が
オーバーしていることを必死で
伝えようとしていたんですわ
そうだったのか
ネプチューンマンに
ウォーズマンまで
ボクたちと一緒に…

21世紀からやってきてたのか！
どうだ――っ図星だろ21世紀ウォーズマン
さすがは完璧超人ネプチューンマン
すべてその通りだ

オレはアラスカを
歩きまわり ようやく
永久凍土の中で
一万年間 眠っていた
マンモスマンを
発見した
こ…これは
心臓音！

やつの
ビッグ・タスクが
周りの生物の養分を
全て吸い取っている

ウオッ

それじゃあ
ウォーズマンは
ボクたち
正義超人の
味方だったんだ──っ
しかも
20世紀よりも
戦いに対する経験も
知識も豊富となった
ウォーズマンよーっ!
ウォーズマンが
味方だったら
鬼に金棒だ
──っ
ウォーズ
マン!
ウォーズ
マン!
将来 オレたちを
苦しめるやもしれない
マンモスマンってやつが
正義超人入りして
くれれば こんな
心強いことはない
クマちゃんは
可愛かったけど
やっぱり強いって感じ
せえへんかったもんな
マンモス
マーン
マンモス
マーン
ほら
スグルさまも
応援して〜っ
…ったく〜っ
強情なんだ
から〜〜っ

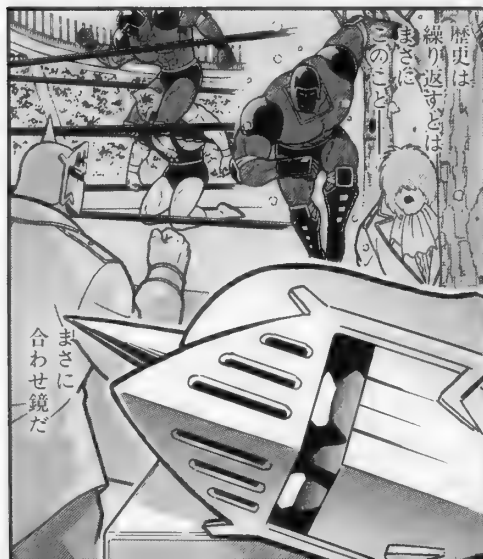
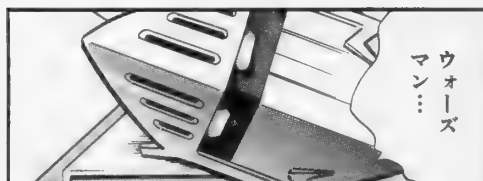
ウォーズマン
ウォーズマン

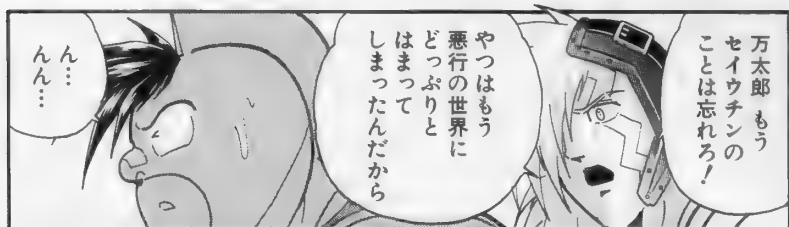
マンモスマン
マンモスマン

場内
21世紀型ウォーズマンと
マンモスマンに大コールの
シャワーだーっ

ウォーズ
マン…

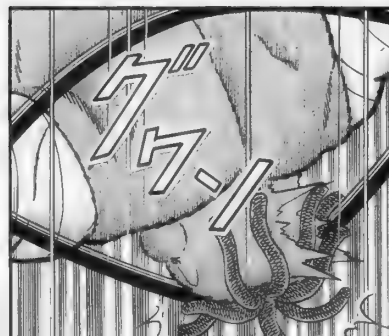
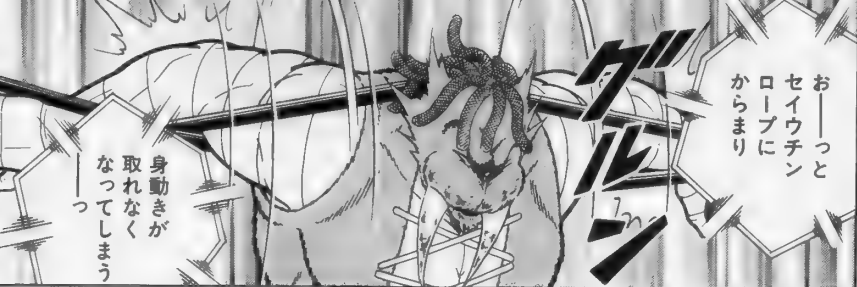
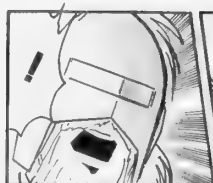
歴史は
繰り返すとは
まさに
このこと──

まさに
合わせ鏡だ

あの頃の私がまだ見ぬ者…強豪の発掘にやっきとなり
おまえをスカウトしたように
年輪を経ておまえも自分のパートナーが務まるような
強豪超人の発掘に精力を傾けていたのか！
ウォーズマン
ウォーズマン
マンモスマン
マンモスマン

ウォーズマン
ウォーズマン
ガルルルルーッ
なんだか
複雑だなぁ〜〜〜っ

おまえは
遠からず
そのことを
思い知る
ことになる！
クロガァーーッ
ガァ
セイウチ・トゥース！
バァ
ビッグ・タスクーーッ！
さあーーっ
セイウチン
大口をひろげ
マンモスマンに
襲いかかるーーっ

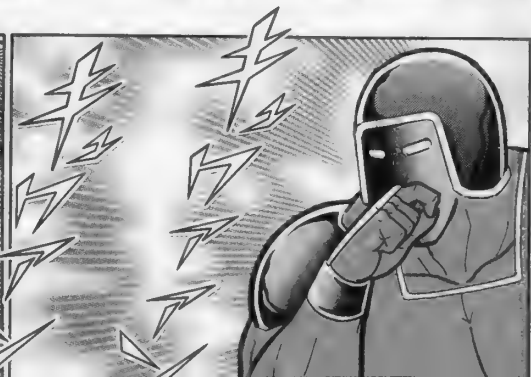
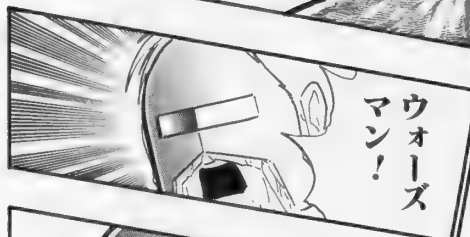
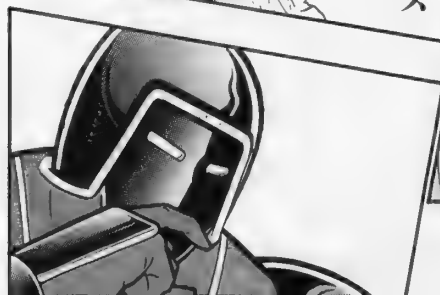
マンモスマン
自らの牙で
セイウチンの
牙地獄を防いだ
——っ!
そして
ビッグブーツで
セイウチンを
突き放す——っ!
パオオ
——ッ

ノーズチョップ——ッ!
おお〜〜〜っとマンモスマン巨大鼻で平手打ちを放つようにセイウチンの頬を張る——っ!
あんなので顔を張られたら
お相撲さんだって顔がもげちゃう…
ノーズアシスト——ッ!
今度はその長い鼻を縄代わりにセイウチンの全身に巻きつけて…
ウン…

パゴオオオーーッ
マンモスマン
鼻を伸ばしきって
セイウチンを投げる
——っ!
さあ投げた
セイウチンを
すぐに追う
マンモスマン
このあたりの詰めは
獣性と知性をあわせ持つ
超人ならではーーっ

ノーズ・
フェンシング
ーーッ!

!

マンモスマン
鼻を鋭い剣のように
硬直させるーーっ

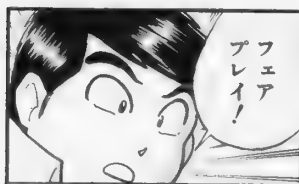
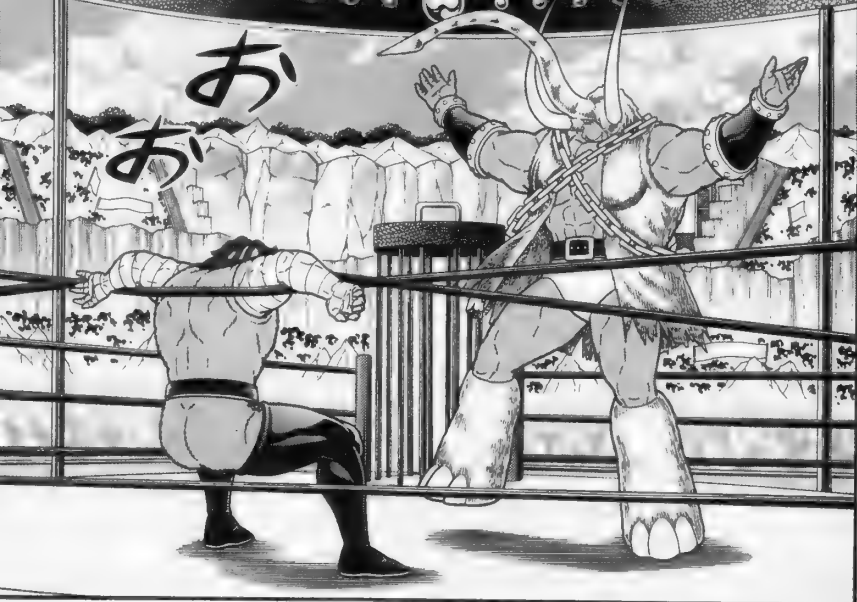
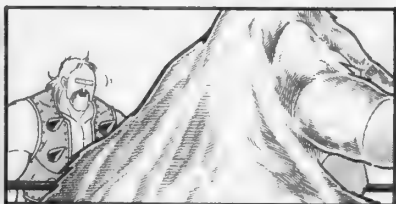
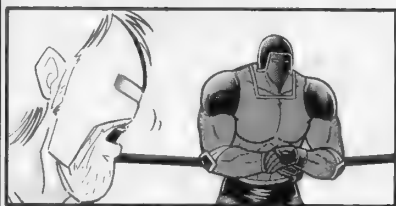
鼻の剣 正確に
セイウチンの顔面を
襲うーーっ!

あーーっと
マンモスマン
ノーズ・
フェンシングを
セイウチンの
鼻先 数ミリの
ところで止めたーーっ
ウォーズ
マン!

おお

な…なんで攻撃の手を止めたの？

「ロープに引っかかった相手を攻めても意味はない」
「ちゃんとリング中央で戦おうぜ」っていうウォーズマンのフェアプレイ精神だ！

フェアプレイ！

フェアプレイ…

マンモスマンめ
あのクマのヌイグルミを
着てやがった時も
ウォーズマンの指笛を聞くと
それまでの
ラフファイトから
突然冷静に
なりやがる…
あいつは
〝超人破壊師(デストロイヤー)〟と
恐れられていた
マンモスマンじゃねえ！
ウォーズマンに
よって正義の心を
植えつけられた
〝正義超人〟
マンモスマンだ！

マンモスマン
“超人破壊師(デストロイヤー)”という
異名がありながら
クリーンファイトを
見せる——っ

第172話 “残虐超人”セイウチン!

カッコいいぜ——っ
マンモスマ——ン

オレたちは一度で
おまえのファンに
なったぜ——っ

マンモスマン！

マンモスマン！

マンモスマン！

さあマンモスマンのフェアプレイ精神に会場より惜しみないコールの嵐――っ

バオ

バオッ

クルルル――ッ

ガッラアア～～ッ

おお――っと ロープに宙吊りとなっていたセイウチン 体を反転してそこから脱出――っ！

マーダー・トゥースーーッ!
ギュル
ギュル
バコォ!
ピキィィ
牙を剥き出し飛んでくるセイウチンに向かってマンモスマン 長い鼻を鋼鉄状に固め
その鼻の剣で迎撃ーーっ!!
ノーズ・フェンシングーーッ!

しかし
セイウチン
それをよけ
縫うように
グル
グル
螺旋状に体を
くねらせて
勢いよく前進
していく───っ！
グオッ
そして
フライング
クロスチョップを
マンモスマンのノド笛に
ヒットさせた───っ
パウグ…
マンモスマン
ノドを強打され
血を吐く───っ

何人 超人を血祭りにあげたら気がすむんだ――っ
大嫌い――っ
超人破壊師(デストロイヤー)マンモスマンが拍手喝采をあび……
グルル…

正真正銘の正義超人であったセイウチンが
非難と罵声をあびる

本来 自分がいるべきではない時代に現れたがためにおこった
歴史のボタンのかけ違えともいえる出来事…
にく
ウ…ウン ボクもそれを感じていたんだ…

おお——っ
間に合った

スージー
ボクたちの
シートは
ここだ！

まあ
前のほうで
素敵〜〜〜っ

どこか
外国から来た
おのぼりさんの
観客らしいね

エエ

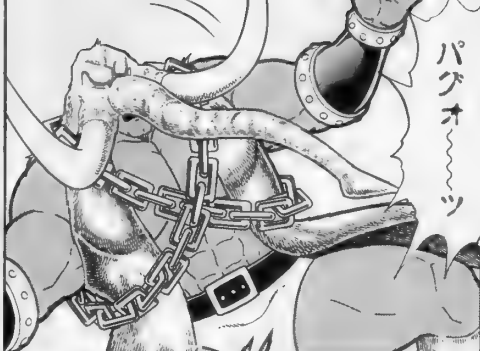
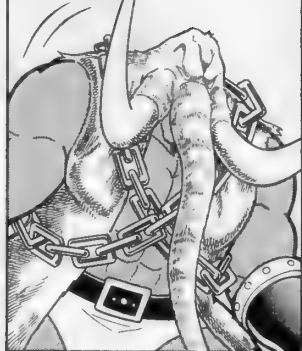
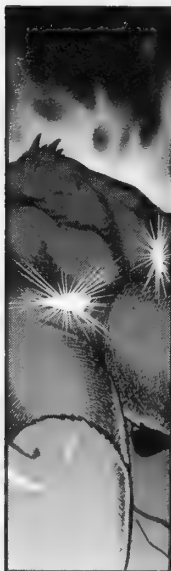
あの田舎者
ふたり

なんかセイウチン
そっくり！
クックククク

バッ

グギョ

セイウチン
体重を乗せた
ドロップキックを
マンモスマンの胸板に
たたき込む——っ

パグオ〜〜〜ッ

グッガアアー―ッ

パゴオ…

ガシィ

マンモスマン
機敏なセイウチンを
今ようやく両腕で
しっかり捕まえた
——っ!

パオーラ

グゥゥ

クロォ

そのまま大木の
ような太い両腕で
巨漢セイウチンを
フロント・
スープレックスで
投げる——!

後方には
アニマル・
チェンバーが——っ
!

とうとう出たな——っ
相手を潰すためなら
全くためらいもなく

平気で残虐な手段を使う
マンモスマンの身の毛も
よだつ獣性が——っ!

グロッ…

セイウチンの頭がチェンバーの鉄格子にはさまったーーっ！
クロロ〜ッ
グロッ

ズン
ズン

………

おーーっとマンモスマンセイウチンの首にからまる鉄格子をつかんだーーっ
何をするつもりだーーっ？
グッ

ングバッ

マンモスマン
なんと鉄格子をひろげ
セイウチンを
キャンバス内に
解放した——っ

カッチョよすぎる
マンモスマン——ッ

指笛を吹いてねえ…

さすがはファイティング・コンピュータウォーズマン

あのフェニックスチームの悪童といわれたマンモスマンだが

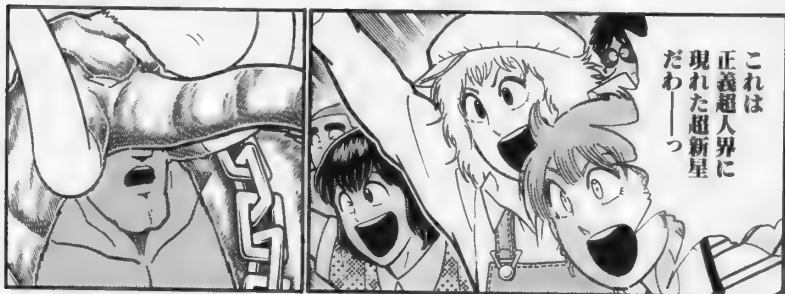
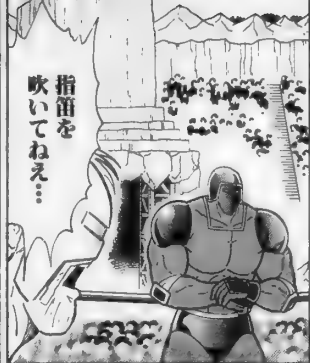
今までは指笛によってマンモスマンの獣性を

コントロールしてたのにそれも無くなってきた…

この時点ではまだ正義・悪の色がついていない無垢な赤ん坊みたいなもの

短期間で正義超人として躾るのも容易だったというわけか

パグォン パグォン

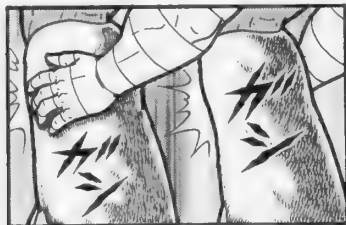
ゴガァァ

セイウチン
セイウチ・トゥースで
マンモスマンの掌を
噛んだ――っ!

バコォワァ〜〜〜ッ

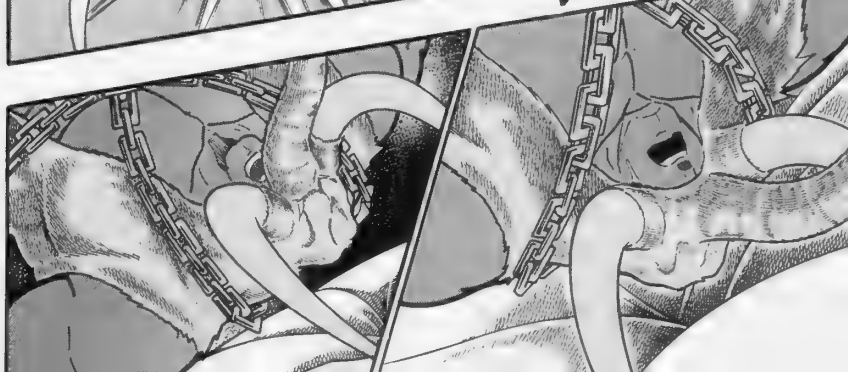
これは〜〜っ
マンモスマンの
フェアプレイ精神を
仇で返す行為だ
――っ

セイウチン
マンモスマンの
ボディを
駆け上がり…

肩の上に乗った――っ

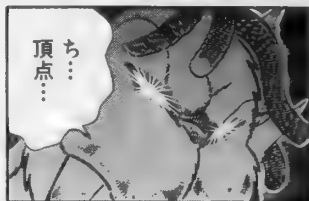
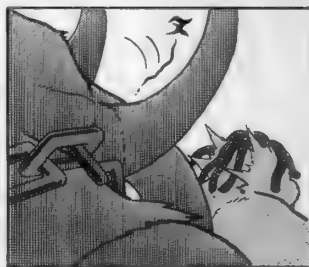
そして首を両足でクラッチして体を反らせ…

両足首を持ってそのまま反転――っ

ダブリンのつむじ風――っ！
マンモスマンの頭をキャンバスに叩きつける――っ！
ガガガ
ガガ
ア

あーーっと
超人破壊師(デストロイヤー)
マンモスマン
初めてダウンだ
ーーっ

何が完璧超人だぁ――っ
ただの血に飢えた
残虐超人じゃねえか――っ!
グルル――ッ
てめえの顔なんて
見たくねえ――っ
いやだわね
超人レスラーなのに
手段を選ばない
汚いヤツって――っ
そうだな
見たところ
オラたちと同じ種族
みてえだけど…
とんだ
恥っさらしだ
グルル～～ッ

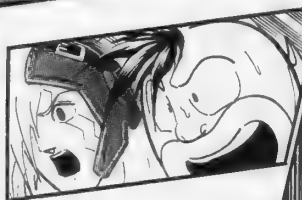
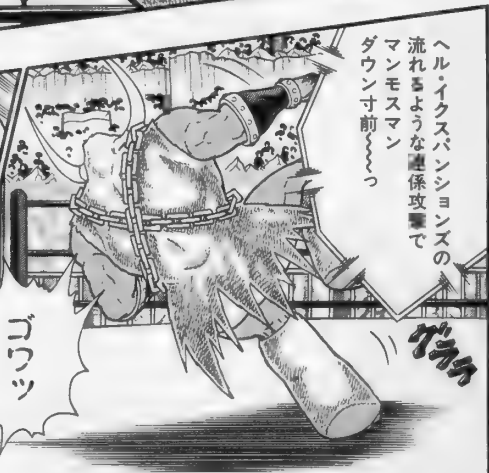
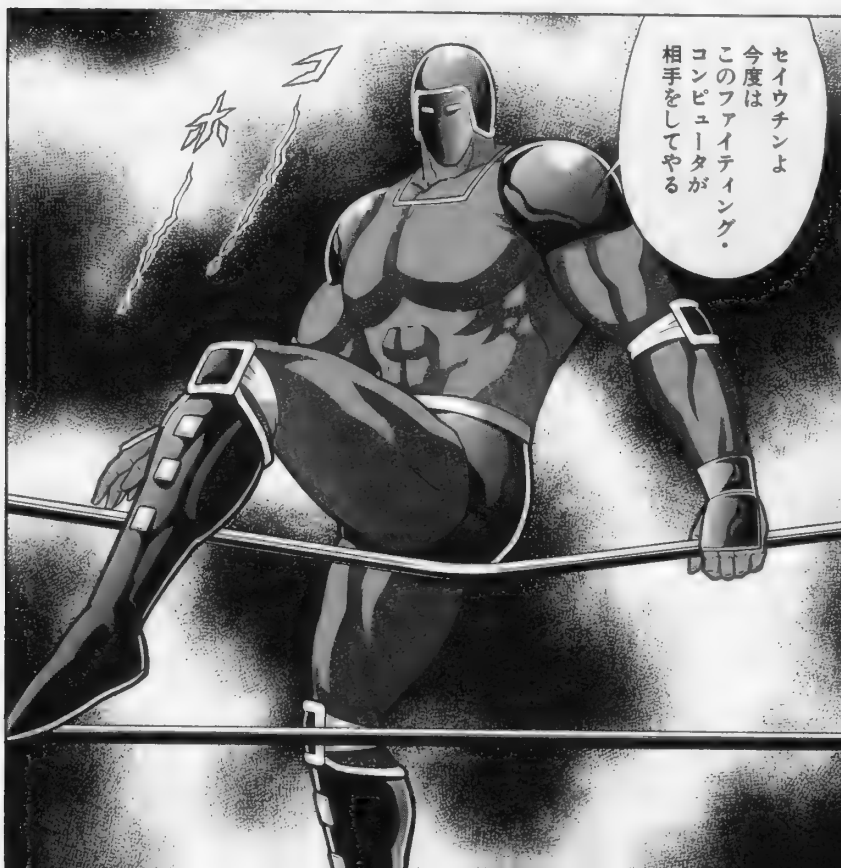
ヤツらの
言ってることなど
たわ言だ――っ

オレたち
完璧超人こそ
格闘における パワー
頭脳 技術の全てにおいて
完全無欠の存在!

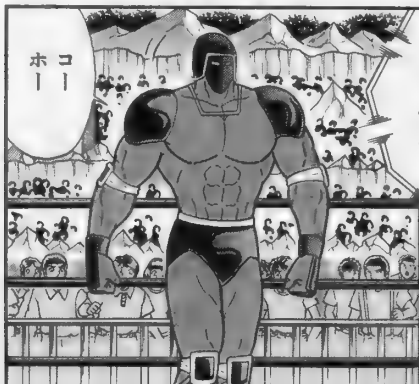
完璧超人こそが
超人界のヒエラルキーの
頂点に立つ資格が
あるんだ!

しかし
セイウチン
それを
察知して…
ローリング
ソバットを
マンモスマンの
胸板に入れた
──っ!
グワッ
フラつき
後退していく
マンモスマン
グハハハ──ッ
いいぜ──っ

セイちゃんよ
それでいい
〜〜〜っ
ヘル・イクスパンションズの
流れるような連係攻撃で
マンモスマン
ダウン寸前〜〜〜っ
ゴワッ
マンモスマン

セイウチンよ
今度は
このファイティング・
コンピュータが
相手をしてやる

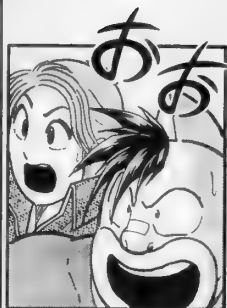
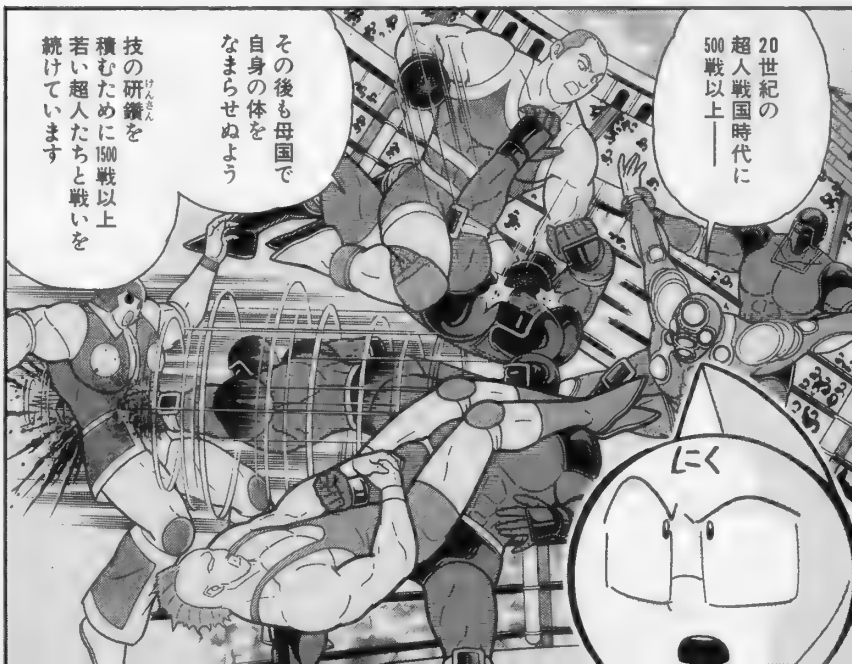
コ
ホ

お〜〜っと
ヘルズ・ベアーズ
マンモスマンから
チームリーダーである
ウォーズマンにスイッチ
したぞ——っ！

第173話 拳で伝えるウォーズマンの思い！

先ほどは
セイウチンに虚をつかれ
あっさりと腕固めを
極められてしまいました
ウォーズマンですが

ややっ!?
一気呵成に攻めると
思われていた
ウォーズマン

グロロロ…

しかし
21世紀ウォーズマンは
どっしり腰を落とし
落ちつきはらって
構える——っ!

グルル

ザッ

おお

コーホー
ハァ
ハァ

ギャハハハ〜ッ
ワルを気取ってるわりにはセイウチンのやつ逃げまわってばかりじゃねえか
だらしないの——っ

セイウチンサークリングで逃げるが
ウォーズマンすぐに追いつく——

サッ
グルル…

20世紀の超人戦国時代に500戦以上――

その後も母国で自身の体をなまらせぬよう

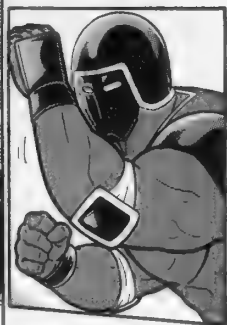
技の研鑽（けんさん）を積むために1500戦以上若い超人たちと戦いを続けています

にく

どんなに過酷な修練を積んでいたかは

あのウォーズマンの体の無数のヘコみや傷を見ればわかる…

その歴戦の強者が醸し出す雰囲気が

若いセイウチンに凄まじいプレッシャーを与えているんだ!

クガアアー―ッ
セイウチ・トゥース！
セイウチン ウォーズマンのがら空きの脇に噛みつきにかかる――っ
ウォーズマンのヒジが上がった
シューッ
しかしそれは罠 ウォーズマン 逆にカウンターの蹴りだ――っ！

グロ…
ウォーズマン グラつく セイウチンの バックから肩の 上に乗った――っ
ザッ

セイウチンよ おまえが本当に ためらいなく 人を殺せる
ルール無用の魔道を 生きるのであれば その決意見せてみろ!
ウォーズマン 超人オリンピック ザ・ビッグファイトで キン肉マンに見舞った
エルボーを セイウチンの頭部に たたき込む――っ
グガッ
グガッ

ウ…ウォーズ・ピストンエルボー

人の骨を砕く音
筋肉がブチ切れる感触…

血の海に沈み
こと切れる前の
ノドの動き

どれもが一度味わって
しまうとクセになる
ほどの恍惚感だ

その殺りくを
永久に嬉々として
行うことができるのは

生来の極悪非情な
バッドハートの
持ち主だけ…

しかし 大抵の者にとって
恍惚感は一瞬だけ…
行った残虐行為の
何倍もの罪悪感に
苛まれることになる

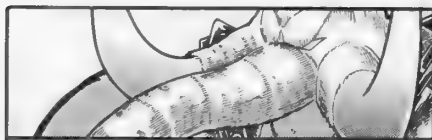
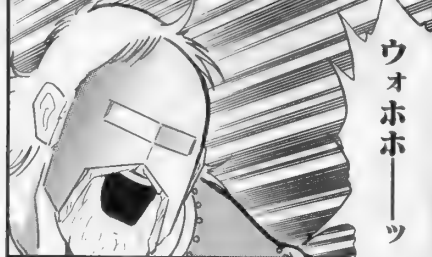
セイウチンとうとうヒザをついた——っ！

パゴッ

パゴッ

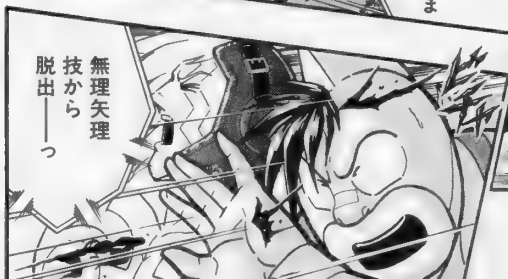
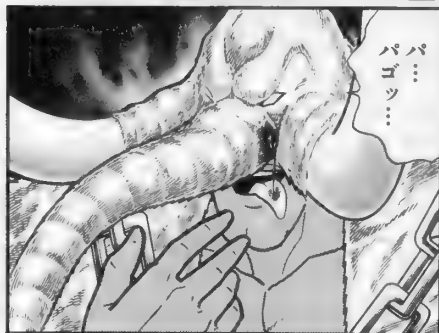
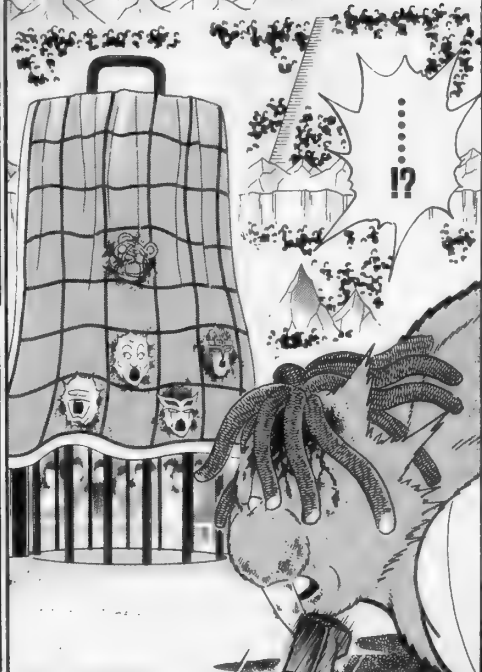
ひるむなセイウチン〜〜〜ッ

さすが極悪残虐超人を標榜するだけのことはあるセイウチン

顔色ひとつ変えず無慈悲にウォーズマンの大腿部を噛み続けます

敵の技から
逃れるためなら
肉などくれてやる
ああーっと
ウォーズマン
なんという技の
逃れ方だ――っ
大腿部の肉を
セイウチンの
口に残したまま
無理矢理
技から
脱出――っ

セイウチン おまえは残虐が売りの完璧超人にはなれっこないんだ！

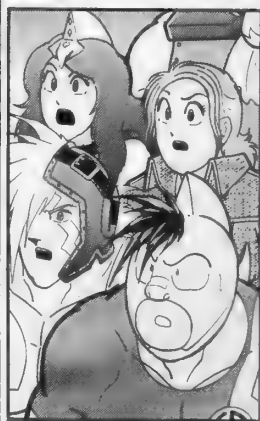
ウォーズマン流れるような動きでセイウチンを這いつくばらせる——っ

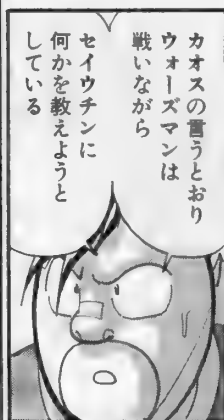
……!?
バ…バリア…
イリューヒン…
チェ…チェックメイト
スカー…
セイウチンの体を制して
そのバックより
ウォーズマン強烈な
打撃をたたき込む——っ

つ…強い〜〜〜っ
ウォーズマン

もう
セイウチンのやつ
青息吐息だぜ
――っ

ザマー見ろ
極悪残虐超人め

ウォーズマン一気に
決めちゃって――っ

おまえのような
テンダーハート(優しい心)な
超人が…

魔道を
歩むなんてのは
無理なんだ――っ

本当だ…

カオスの言うとおり
ウォーズマンは
戦いながら
セイウチンに
何かを教えようと
している

今ならまだ正道に
戻ることは
できるぜ~っ!

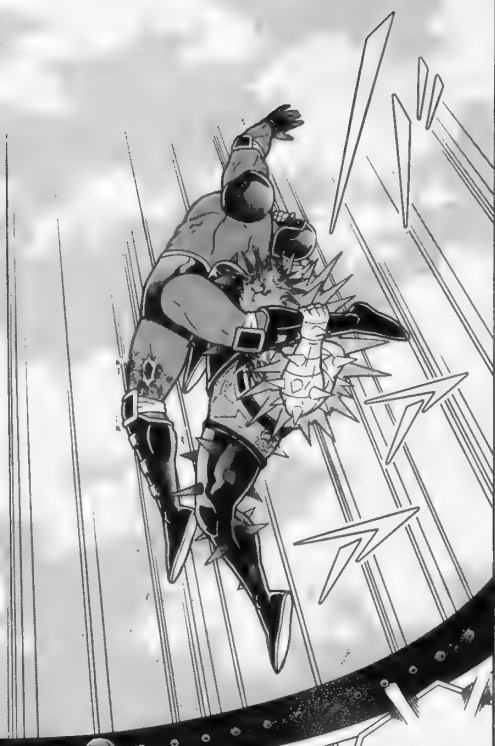
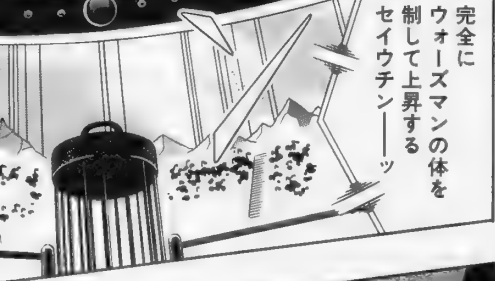
あの正義超人界の
中堅の位置で
自分には決して
スポットは当たらずとも
みんなの世話を
甲斐甲斐しくする
あの生ぬるい日常に
——っ!!

クギュワ〜〜〜ッ

ニードルファー

あ——っとセイウチンの全身の毛が逆立ち針のように硬くなりウォーズマンの拳を突き刺し

グゥ…

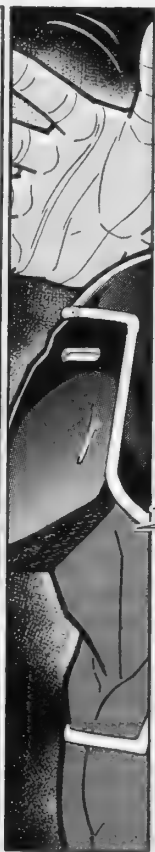
右腕にも貫通する——っ

グアア…
グルル
セイウチン 前転し
ウォーズマンの
両足の極めから
逃れ…
右腕で
アゴを制し
ガキ
自らの頭で
左足を
かつぎ上げ
ガキ
完全に
ウォーズマンの体を
制して上昇する
セイウチン——ッ
空中で
反転し…

そのまま
落下――っ
北極熊捕獲落とし
――っ!
オラは絶対に
超人界の
高みに立つ!

あ——っと
元・残虐超人ウォーズマンを上回る
冷酷無比なファイトを見せる
セイウチン〜〜〜〜ッ!

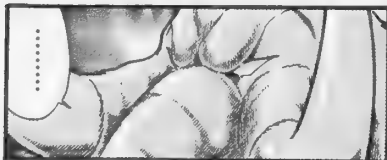
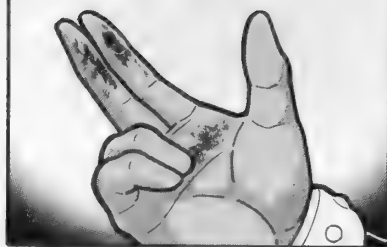
第174話 怒濤（どとう）の残虐攻撃!

おお——っと
ウォーズマンの体を
貫いていた

セイウチンの
ニードルファーが
元に戻っていく

さあ〜〜っ
ウォーズマンが
ダウ〜〜〜ン

セイウチ・トゥーース！

ダウンした
ウォーズマンの
背中に情け容赦ない
噛みつき攻撃だ
――っ

クワガァァ——ッ

こら〜〜っ マンモスマン パートナーがやられとるのに何ボ〜っとしてる〜〜っ

タッチの手を伸ばさないか——っ！

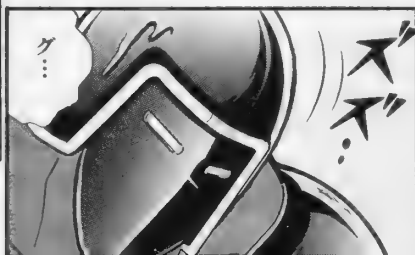
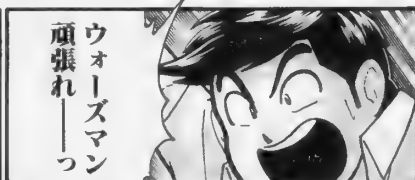
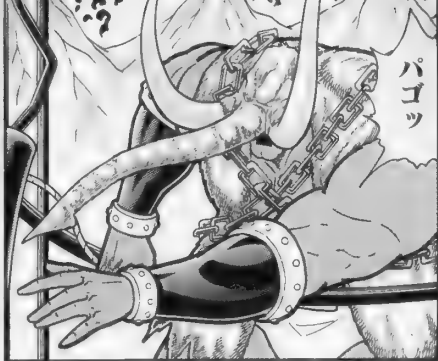
さあ〜〜っ セイウチンの残虐ファイトますます冴える——っ

パゴッ
…ったく〜〜〜っ
いくらウォーズマンに
氷河から掘りおこされた
ばかりの
赤ん坊みたいな
もんだとはいえ
ボ〜っとしすぎだ

さあマンモスマン
タッチしようと
ウォーズマンに手を
伸ばす――っ
ウォーズマン
必死にキャンバスを
這い タッチを
求めようとする
――っ!
ズ
ズ

ウォーズマン
頑張れ――っ

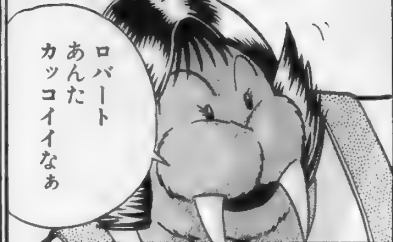
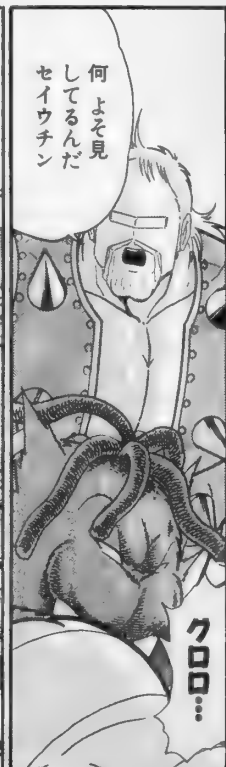
も…
もう少し
――っ!
ああ

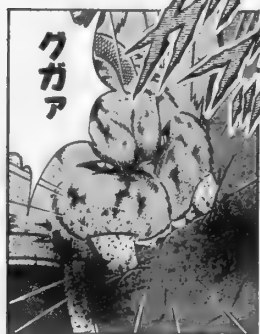
グ…
ズ
ズ

グ
タッチはさせねえ
あーっとあと少しでタッチ成立だったところを
セイウチンウォーズマンの右足首を噛み再び自分のほうへひきよせる──っ
なんとセイウチン凄まじいアゴの力だけでウォーズマンを持ち上げ
ギュル
ギュル
回転させる──っ!
クログァァ

グワハァ
グヮァ
ネプチューンマン
ノータッチで空中の
セイウチンめがけ
飛んだ――っ！
そして
ウォーズマンの首に
ギロチンドロップを
合わせて…
イクスパンション・
タービン!!
ヘル・イクス
パンションズの
息の合った
ツープラトン攻撃が
決まった――っ

あなたたち
汚いわよ！
ノータッチじゃない
この
ひきょう者め――っ
こりゃ――っ
おまえら――っ
男らしく戦え――っ
グフフ
いつ聞いても
ブーイングってやつは
心躍るぜ

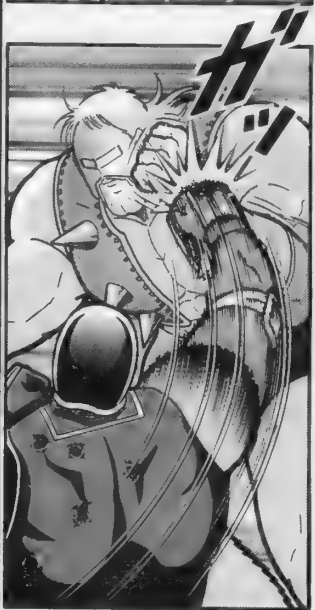
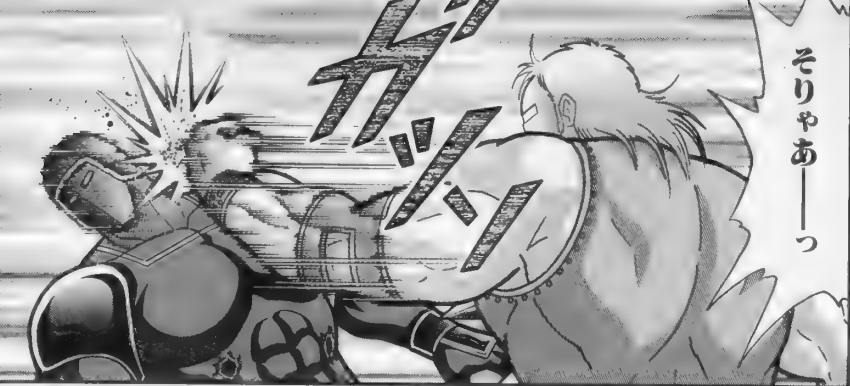
何 よそ見 してるんだ セイウチン

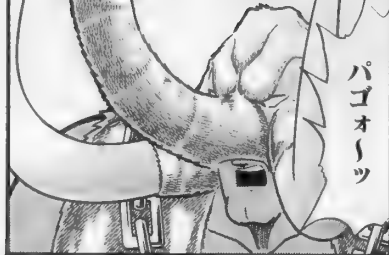
クロロ…

おお あれだけの ダメージを 負いながらも

戦う(ファイティング)コンピュータは 立ちあがってくる ──っ!

フッ　オレは
おまえを上回る
〝戦う頭脳〟を
ファイティングブレイン
持っているぜ!
ガキ
おーーっと
ネプチューンマン
パートナー　セイウチンの
牙をリバースフルネルソンに
取ったーーっ
フライング
セイウチ
ーーッ
そして
投げた
ーーっ
グガァ

そ…そうか〜〜っ
ここまで言っても

残虐無比な魔道を…
つ…突き進むか…

歳はとっても
イキだけはいい
じゃねえか〜〜〜っ

シャアーーッ

ウォーズマン
反撃を試みるが
全てをネプチューン
マンに見切られている
ーーっ!

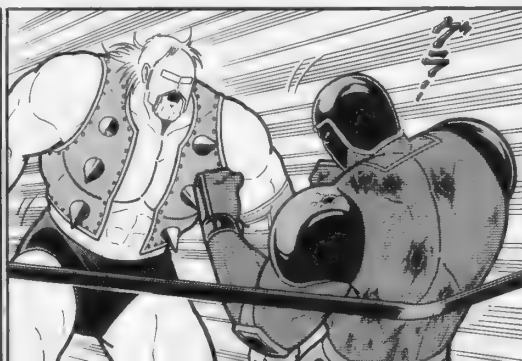
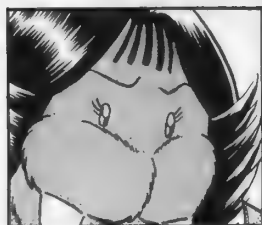
フン
グウ…
ドゴォ
フン！
さあ〜〜っ
先の〝夢の超人タッグ戦〟
以来のネプチューンマン
ウォーズマンの交わりですが
何を
やってるんだ〜っ
ウォーズマン
一度やられた
苦手意識って
やつか——っ!?
フン
ネプチューンマンが
圧倒している!!
いや
ウォーズマンの
ファイティング・
コンピュータは
苦手意識は
必ず克服して
きているはず

あんたたちが攻撃したって応援なんてしないからねぇっ
パゴォ〜ッ
こりゃ〜〜〜っ そっちの長髪の超人よ おまえふたりがかりだから圧倒するのはあたりまえだろ〜〜〜〜っ！

スージー おまえもあの長髪の超人とセイウチ族らしき超人にブーイングせんか！
最初はワダスも充分ひでえやつらだと思ったよ
だども あのセイウチ族らしき男を見ているうちに罵声を浴びせる気がしなくなってきて…

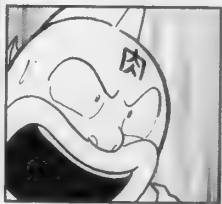
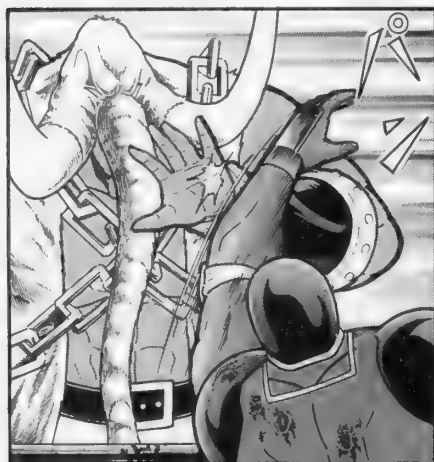
ほら なんだかあの男の目はあんたにどことなく似てると思わねえか？

ハッハハハ
バカこくでねえ
オラ あげに残虐な
目つきだかぁ?

グッ
グオッ
ドゴ
ドゴ
ドゴ

カチ
カチ
!
グラ…

パンチの連打で
ウォーズマンを
ロープに追いつめた
ネプチューンマン

ノーモーションの
飛びヒザを出す
――っ!

タアアーーッ

逆に
ネプチューンマンの
アゴに飛びヒザ蹴り
一閃!

パゴッ
ザ
さあタッチが成立したマンモスマンリングインする
遅いだよーーっ
ガシャ
ダ
あーーっとセイウチンチェンバーの上からウォーズマンをジャーマンスープレックスで投げるーーっ
トハアーーッ
おーーっとジャーマンで投げられるウォーズマンの首にネプチューンマンが
なおもぶら下がりフライングヘッドシザーズのツープラトンーーッ!!

マンモスマンの救出が
間に合いそうもない
——っ!
パグ…
ズ
ズ
パゴォォオ——ッ

第175話
脅威の連係技炸裂!
おーっと なんだ〜っ?
ヘルズ・ベアーズ
コーナーの
マンモスマンの
側頭部より
巨大な耳が出現
したぞ——っ!
マ…マンモスマンに
象のようにでかい
耳がぁ〜〜っ
グワ〜ハハハ
ヘルズ・ベアーズよ
これで
おまえたちの
"地獄"の称号は
返上だな〜〜っ!

ヘル・イクスパンションズのツープラトンがウォーズマンを襲う
ランペイジホイール
バゴォォォーーッ
イヤーガスト!!

あーーっと
マンモスマンの巨大耳が
凄まじい突風を
起こすーーっ
ウオッ
グロッ
にく
クロロ…
マンモスマンの
巨大耳から
出される突風が
ヘル・イクスパンションズの
ツープラトンを
蹴散らしたんだーーっ
なんのーーっ

ズガッ

つむじ風
蹴りーっ!!

ウォーズマン
左右のねじりと
同時にふたりを蹴り
イクスパンションズを
よせつけないーーっ!

グウウ〜ッ

そして
逆さ状態より
上昇ーーっ!

ググッ

ベアー・
クロー!!

〝地獄〟の称号を返上するのはヘル・イクスパンションズよおまえたちのほうだ──っ！
グアア…
ウォーズマンここで伝家の宝刀ベアー・クローだ──っ

34年間研鑽してきた

技と知識はダテじゃないぜ!

さあ
ウォーズマン
ベアー・クローの
反動を利用して

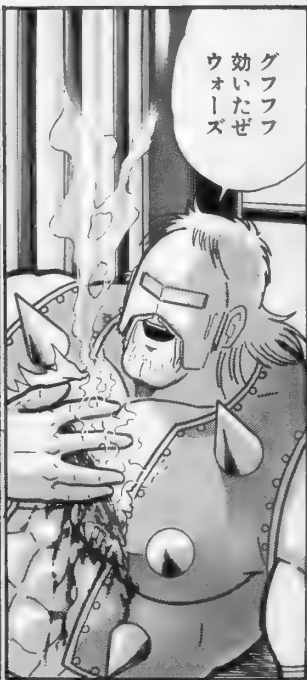
再び宙に舞う
——っ!

ウォーズマン
空中の
セイウチンの
両脇を
ガキ
リバース
フルネルソンに
捕らえた──っ
セイウチンよ
魔道をつき進むなら
相手選手からも
熾烈この上ない
技の洗礼を受けることを
忘れるな──っ
マンモ〜ス
そのまま
ダブルアーム・
スープレックスで
セイウチンを
投げにいく──っ
ハコオーッ
なんと──っ
マンモスマン
ジャンプして
ウォーズマンの両脚を
自らの両大腿部に
乗せた──っ

アイスバーグ
アバランチャー——ッ！
あ——っと
ウォーズマンの
ダブルアーム・
スープレックスの
威力を増すため
マンモスマン
ウォーズマンの体を
後方に投げた——っ

さあ チームプレーでは
ヘル・イクスパンションズに
水をあけられていた…

ヘルズ・ベアーズで
ありましたが
ここにきて俄然冴えが
出てきたぞーっ!

グロロロ〜〜ッ

あーーっと
これは?
マンモスマン

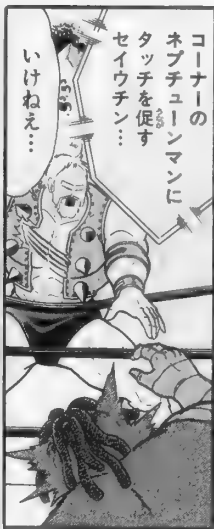
いきなり
パートナーである
ウォーズマンを
リフトアップしたぞ
ーーっ!

あ
あ

?

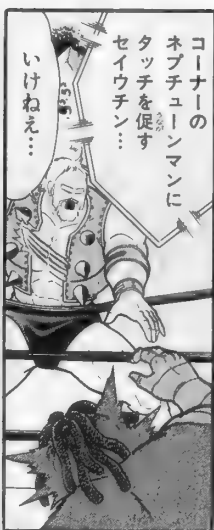
バゴーッ

なんと
自らの牙(タスク)の上に
ウォーズマンの体を
落とすーーっ

マンモスマンの
流線形の牙の上を
転がされることに
よって
ウォーズマンの
体が錐揉状に
大回転していく
――っ
グレイシャー・
アタック――ッ
ウォーズマンの
フライング・
ボディアタックが
セイウチンに
激突――っ
セイウチン…

ノーズ
キャッチャー！

マンモスマン
長い鼻をさらに
伸ばして

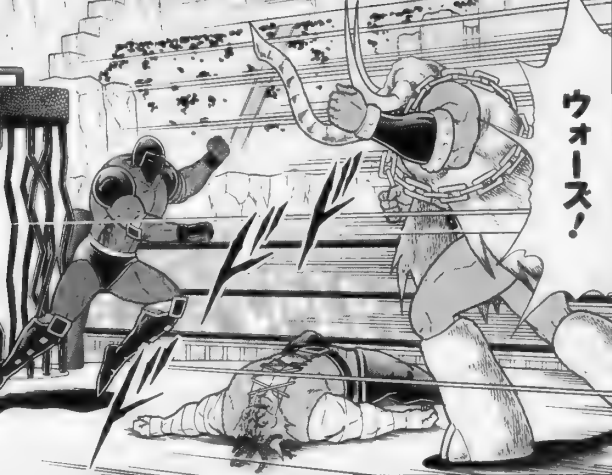
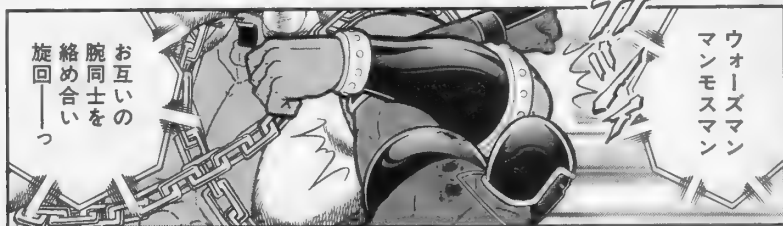
セイウチンの体を
捕獲〜〜〜っ！

ノーズキャッチャー!

マンモスマン長い鼻をさらに伸ばして

セイウチンの体を捕獲〜〜〜〜っ!

パゴォラーーッ
ヌォーッ
そのまま鼻の力で
セイウチンの体を
頭上高く舞い上げる
――っ！
マンモスマンの
合図によって
ウォーズマン
ジャンプ――ッ！
ウォーズ
さあ――っ
マンモスマン
セイウチンの体を
勢いよく落下させる
――っ！
さらに そこに
ウォーズマンの
パワーも
加わる――っ

フリージット・バックブリーカー〃
ズガガ
そのまま
自らのヒザの上に
ウォーズマンの
体重のかかった
セイウチンを
叩きつける――っ
グロラアア
…
ズン
あ――っと
〃北国の獣の帝王〃
セイウチン
ダウンだ――っ！

セ…
セイウチン…

ウォーズ！

ウォーズマン
マンモスマン

お互いの
腕同士を
絡め合い
旋回──っ

ヘルズ・ベアーズ
間髪入れず

息の合ったダブルの
エルボーをセイウチンに
落とす──っ

あーーっと
ヘルズ・ベアーズ
ここにきて
コンビネーションが
合ってきたどころか

いつの間にか
ツープラトン攻撃も
ヘル・イクスパンションズを
凌駕してしまっている
ーーっ!

す…すげぇ
アラスカの氷河から
ウォーズマンに
掘り出されたばかりで

純真といえば
聞こえはいいが
ただウォーズマンの
指図通り動いていただけ
のマンモスマンが…

試合開始から
たった20分で
ウォーズマンを
逆に指図し…

ツープラトンまで
自在にできるように
なっていやがる…

〝獣性〟と〝知性〟を
あわせ持つ超人だけの
ことはある…

さすがは超人界
唯一無二とも
いえる

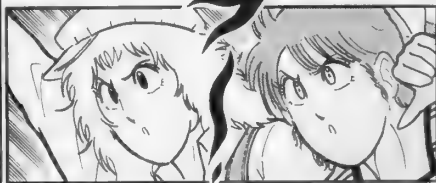
二律背反（にりつはいはん）する
属性──

スポンジが水を
吸い上げるがごとくに
その類い稀なる
〝知性〟によってどんどん
超人レスラーとして
完成されつつある

まがうことなき
正真正銘の
正義超人ウォーズマンと
組むことによって

もうひとつの属性である
〝獣性〟が解放されていない
…そこにやつにつけいる
スキがある！

ゴホ
ゴホ

さあ〜〜っ
セイウチン
チームリーダーの
ネプチューンマンに
タッチを要求に
いく——っ

悪いことしてるから バチが当たったのよ！
そんな残虐野郎 さっさと 成敗しちゃってくれ ウォーズマン!!
やっちまえ——っ
二度と立たせないようにしてやれ——っ
……
ガッ
ボカ
物を投げないでください！ 物を投げないでください！

やめてけろ――っ！
あの男も一生懸命戦ってんだ――っ！
こ…これスージー
グ…グロロロローッ

第176話
引き返せない魔道！

おどぉ…?
おがぁ…?

ま…まさか…
しかしスージー ロバートは おがぁと おどぉの 名前…

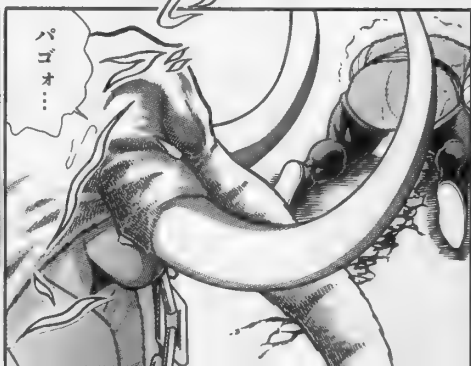
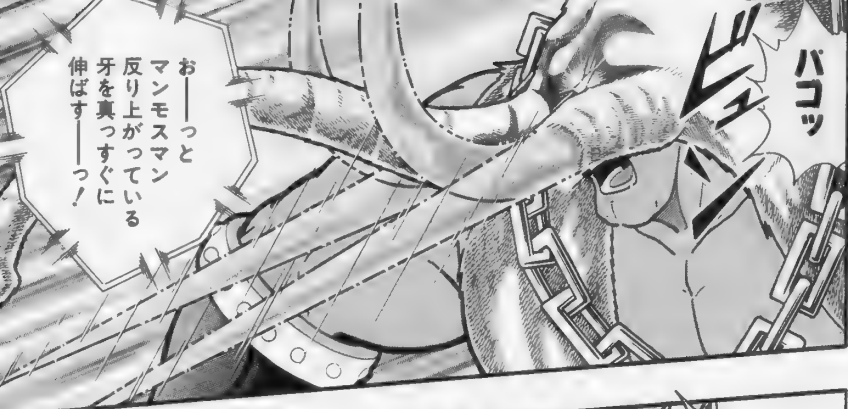
だ…だけんども おどぉは オラが幼い時
しけの海へ 漁に出て 死んだはず…

そ…そうだ
ここは21世紀
じゃねえ
20世紀だ…
おどぉとおがぁが
まだ若い頃の
時代…

何やってやがる
セイウチン
早くこねえか！

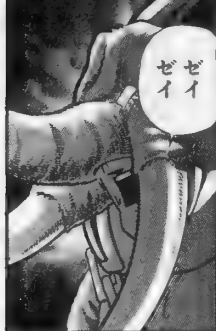
さあ〜〜っ
セイウチン
息も絶えだえに
なりながらも這って
自軍コーナーへと
にじり寄る——っ
グルル…

パゴォ…

……
パゴパゴ

バゴォォーーッ
ドゥ
ガガ
ア
ヒィィ…
キャア
！
あーーっと
しかしマンモスマン
それをさせじと
ビッグブーツで阻止
ーーっ！
グロ…
グボボ〜ッ
ズバン
ク
さあ
今のカットによって
ダウンカウントが
新たに数え
直されるーーっ

パコッ
ビュ
おーーっと
マンモスマン
反り上がっている
牙を真っすぐに
伸ばすーーっ！
ビッグ・
タスク
〜〜ッ！
ガッ
ググ
そして眼下の
セイウチンめがけて
体を倒していく
ーーっ！
バゴッ

ゼイ ゼイ
ハア ハア

おおーーっ ビッグ・タスクが元に戻っていく
静まれ…おまえが追撃しなくても〝カウントアウト〟というルールが
自然にセイウチンを敗北に導いてくれる…

おっと〜〜っ
マンモスマン
途中で技を
ストップさせた
──っ
そのまま
セイウチンの
ダウンカウントは
続く───っ!
カウントアウトで
勝とうってんだろうが
ルール無用の
オレたちには
通用しないぜ──っ
あ──っと
ネプチューンマン
ノータッチで
入ってくる──っ
セイウチン
ニードルファー
ボ
ワ
ダ
ア

セイウチン
復活――っ
ネプチューン
マンの左腕に
体を丸めて
絡みついた――っ
ギュウ
くらえ
ヘジホッグ・
ボール！

パオ〜〜〜ッ

セイウチンのハリネズミ攻撃がマンモスマンの胸に突き刺さる——っ

しかしセイウチン
いち早くヘッジホッグ・
ボールを解き
パンチをかいくぐり…

マンモスマンの
脇腹に噛(か)みついた
——っ!

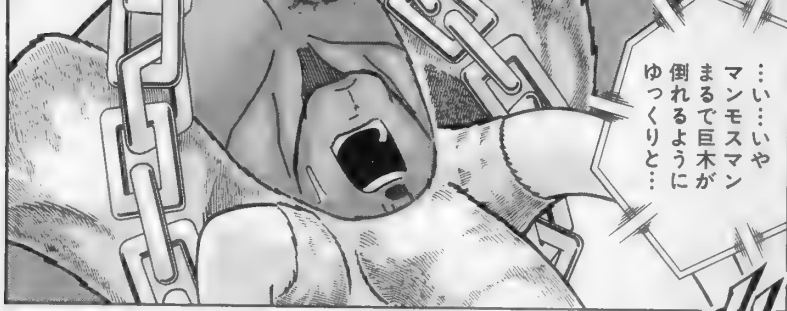
パギャアアーーッ

マンモスマン無理矢理引きはがそうとするが…

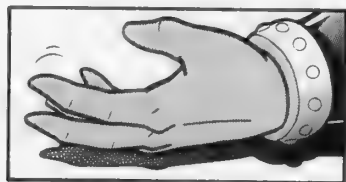
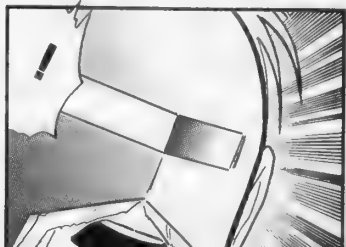
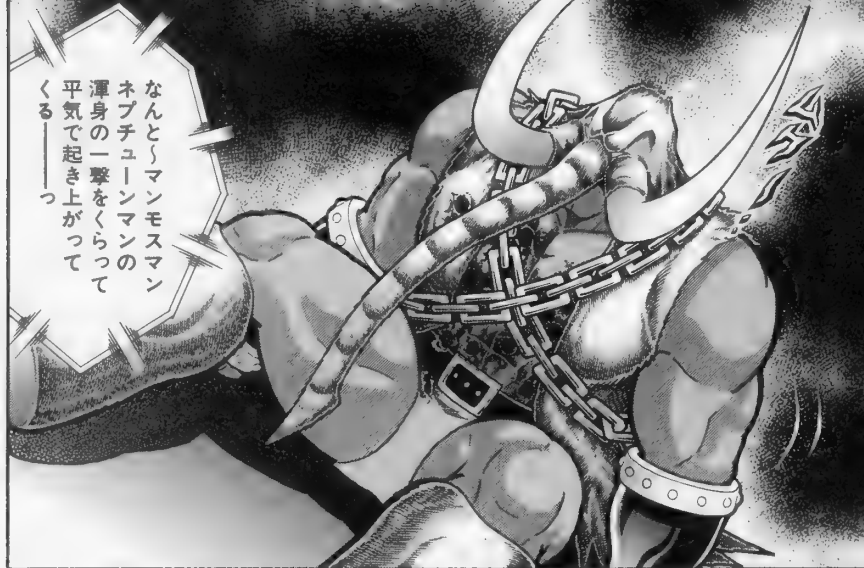
セイウチンの牙が深く食い込み引きはがすことはできない——っ

ようし セイウチン絶対に離れるな——っ

ああ——っとネプチューンマンが右手で左腕のサポーターをしごく——っ

喧嘩ボンバ
——ッ！

…い…いや
マンモスマン
まるで巨木が
倒れるように
ゆっくりと…

ズウウウウ

ダウーン!!

なんと～マンモスマン
ネプチューンマンの
渾身の一撃をくらって
平気で起き上がって
くる――っ

グワハハハハ
どこまでも闘争心に
火をつけてくれる
やつだぜ――っ!

しかし
ネプチューンマン
すぐに迎撃に
向かう――っ

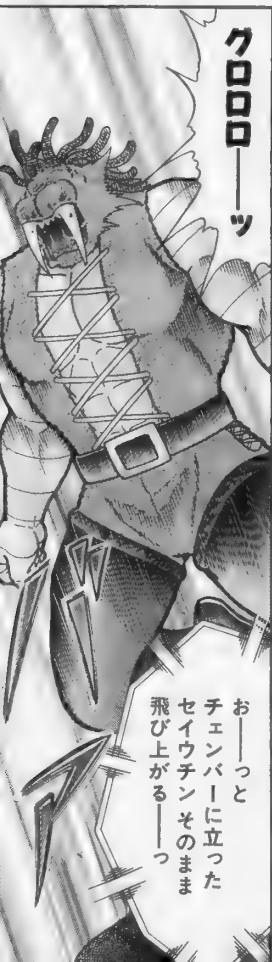
ダッ

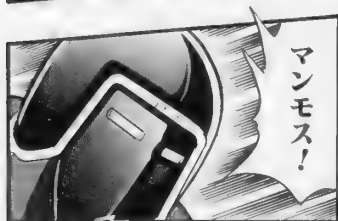
そこより
前には
行かせん!

ウォーズマン
それをカット
――ッ

ドドド

グフフフ
その前に見ろよ
おまえのパートナーは
大ピンチだぜ…

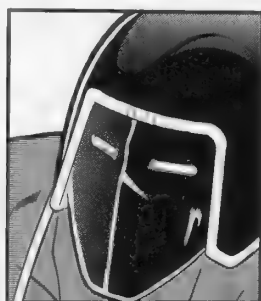
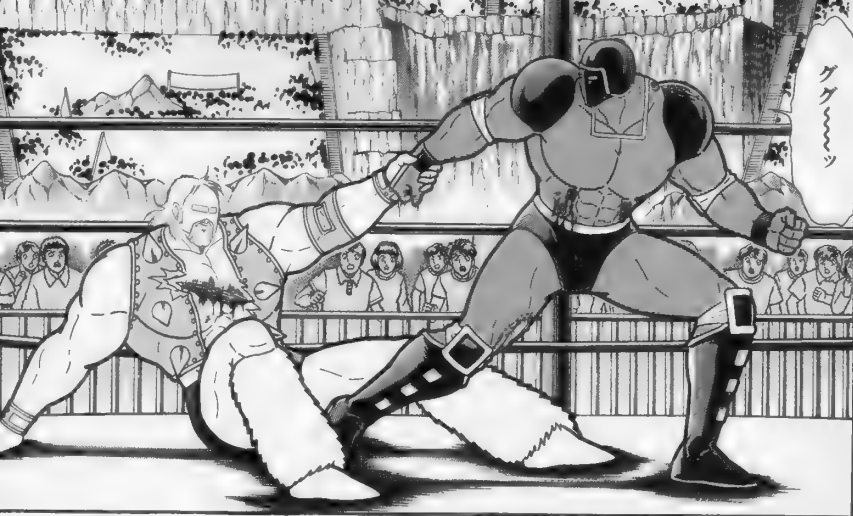
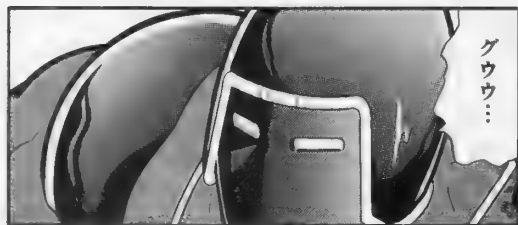
!

グロロロロ――ッ

お――っと
チェンバーに立った
セイウチン そのまま
飛び上がる――っ

ガブッ
セイウチ・トゥース！
ギュル
ギュル
パゴオ～ッ
あーっとマンモスマンセイウチンの鋭い牙攻撃を首にくらってしまったーっ
マンモス！
ガシィ

グググ～～ッ

ウォーズマン
おまえがオレたちとの
戦いに挑んでいる理由は

師匠ロビンマスクの
息子でありでもある
ケビンマスク救出が
一番だろうが…

それと同時に
オレのパートナー
〝北国の獣の帝王〟
セイウチンを
元のテンダーハート
(優しい心)の超人に
戻そうという理由も
あるんだろう

しかしやつはもはや
後戻りのできない
魔道にどっぷりと
つかり込んで
しまっている！

おまえが
どんなに諭そうが
無駄ってもんだ！
グワッハハハハハ

グウウ…

すなわちマンモスマンが
頸動脈を食いちぎられ
絶命するのは時間の問題
というわけだ――っ！

やめろ――っ
そんな血腥い試合は
もうたくさんだ――っ

そいつらを
反則負けに
しちまえ――っ

物を投げないでください!
おわ
物を投げないでください!
キャア
さあおめえらもこいつを獣野郎にぶつけるんだ――っ
グロ…
てめえら～～っよく見るとあの獣野郎とよく似てる…同じ一族か――っ
アワワワ～ッ

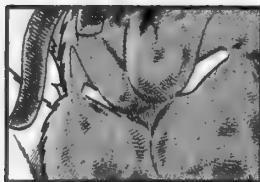
そういや さっき あの獣野郎を 応援して やがったな――っ

ドガッ

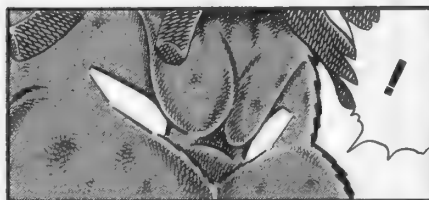
ウワッ

ロバート

!

徐々に マンモスマンの 力がぬけていく ――っ!!

さあ〜〜っ セイウチン
マンモスマンの頸動脈を
食いやぶらんと牙をたてて
首をふる——っ！

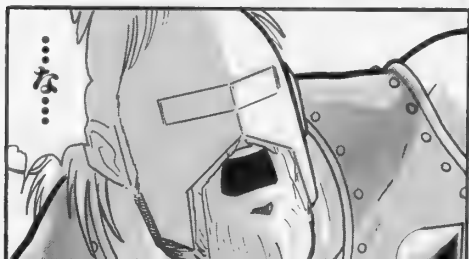
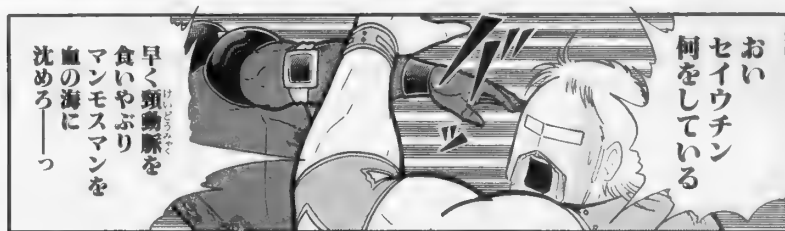
第177話 決して切れない絆！

……

ああ――っと
マンモスマンの頸動脈に
牙を突き立てていた
セイウチン 突然
その技を解いた――っ

そら〜っ
立てよーっ
おっさん
まだ終わって
ねえぜ〜っ

ロバート

この観客席には
あんな残虐な
獣野郎を
応援するやつは
いらねえんだよ!

グロウ…

わ…わだすらは意味なくセイウチンって超人に肩入れしてたわけじゃねえだ…

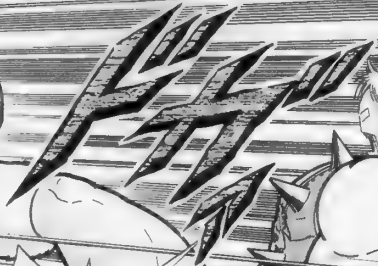
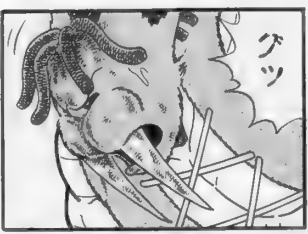
あ…あのセイウチンって超人は残虐ファイトはしているが

本当は心根の優しい子だて思うだよ

おどう…おがあ…

新世代超人(ニュージェネレーション)の中でくすぶっていたおまえの獣性を見出し

一流の完璧超人(パーフェクト)として鍛えてやったのは このオレだ よもや忘れたわけじゃあるまい!

グッ

そんな心根の
優しいやつが
超人たちの顔を
容赦なく
剥ぎ取れるか——っ!

おまえはすでに
21世紀より一緒に
タイムスリップしてきた
盟友たちの顔を

なんのためらいもなく
狩り取っていったの
だぞ〜〜〜っ

グロロロロ――ッ
つまりは新世代超人(ニュージェネレーション)という退路を断ち
あえて完璧超人(パーフェクト)という血みどろの魔道を選んだということだ!
グイ
さあ蛍石を食え!
バラバラ
グロロロ…

グラァ

ドー

グググッ
コラ――ッ
おまえら
やめんかーっ
ご婦人に
なんてこと
するんだーっ！

乱暴な
やつらは たとえ
人間であっても
容赦はしないぞ
こ…こいつらが
あの獣野郎に
肩入れしやがる
から…
おい もう
よそうぜ…

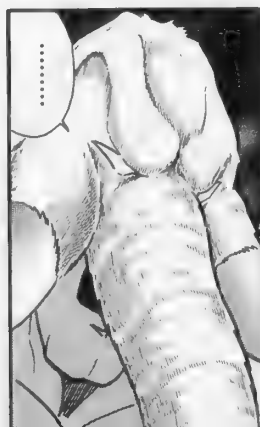
さあ
座って

お…幼い頃から
素直で思いやりのある
子になりなさいって
おどう おがあに
言われてきたのに…

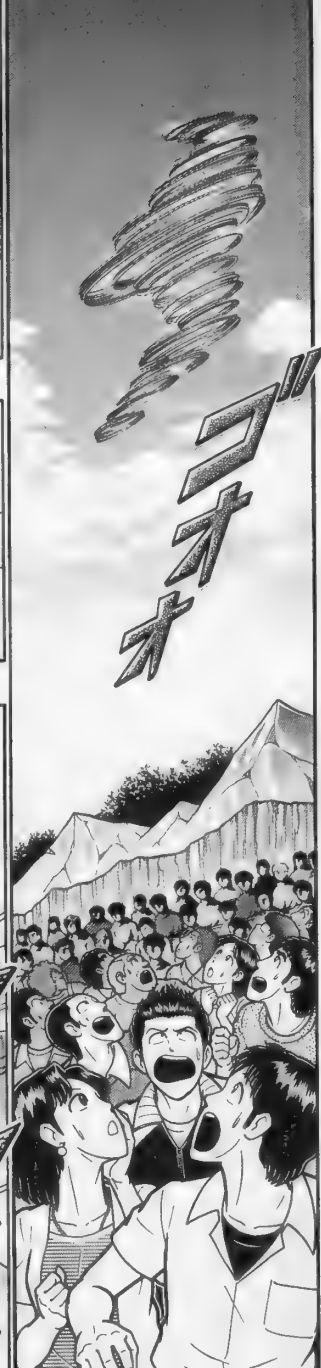
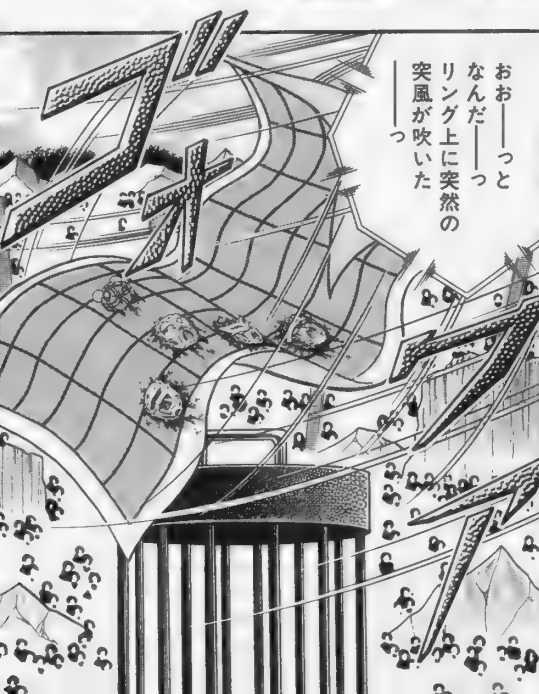
!

セイウチンのふたつの牙の跡が僅か数ミリのところで

マンモスマンの頸動脈を避けている！

見て
セイウチンの様子が
なんか変なの…

まだまだ
痛い目が
足りないようだな
〜〜〜〜っ

ヌー…!!

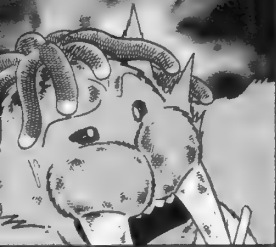
ゴオオ
ゴオオ
うわっ
ゴオオ
おわっ
ゴオ
おお――っと
なんだ――っ
リング上に突然の
突風が吹いた
――っ

その風が青コーナー
チェンバー上にあった
ネプチューンマンの
〝顔剥ぎコレクション
マント〟を舞い上がらせ

ネプチューン
マンの行く手を
さえぎった
——っ!

ウ…ウグワ

そしてさらに
リング中央で
広がる——っ!

バサッ

どういう
ことだ!?

み… みんな…

おめえらの制裁を受けるなら仕方ねえ オラはそれだけのことをしてきてしまったんだから

オレはもしも
おめーが親の思いも
断ち切って魔道を
進むつもりなら

このまま
殺しに舞い戻る
つもりだったぜ！

オレはちゃんとした
ルールにのっとった
上でおまえに
負けたんだ…

恨んでなんか
いないぜ…

イリュー…

ス…
スカー…

み…
みんなぁ〜っ

セイウチン
戦うなら
正義超人として
フェアに
堂々と戦え!!

そ…そうだ
オラはケダモノと
違うだ…

オ…オラには優しく
育んでくれた両親と
熱き血潮で結びついた
友達がいたんだ〜っ

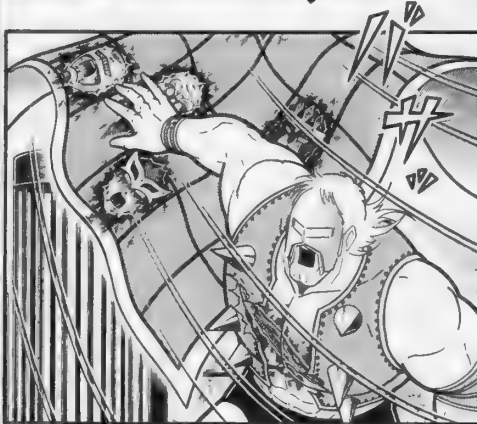
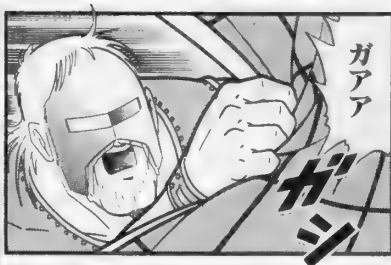
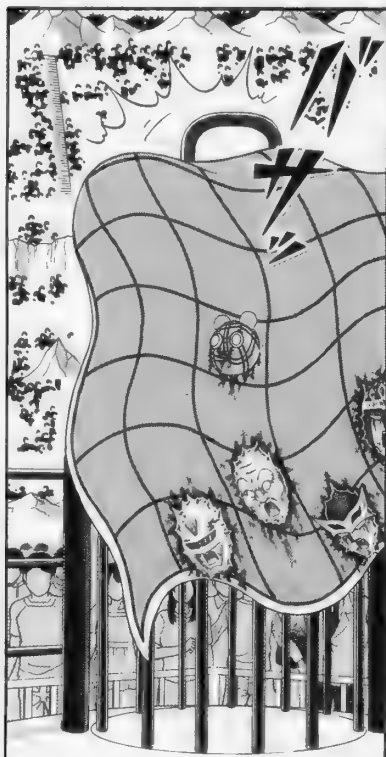
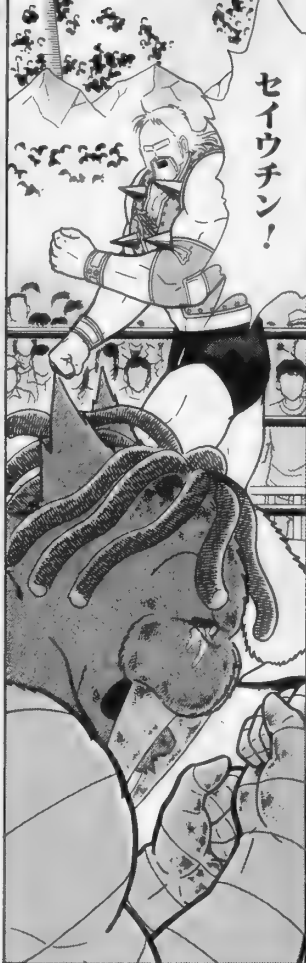
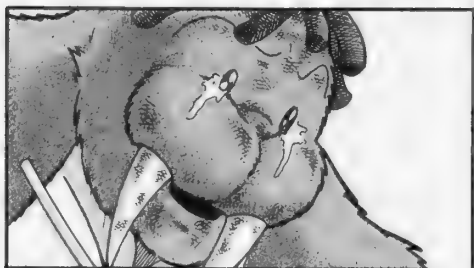
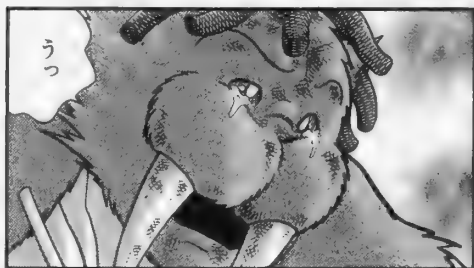
ヌウ
ガアア
ガシ
バサッ
バサッ

セイウチン！

う…

うっ

ああ〜〜っ
あの獰猛な野獣の牙が短くなっていくぞ〜〜っ
にく

てめえ〜〜っ
オレを裏切ろうってのか？

裏切るつもりは
ないだよ

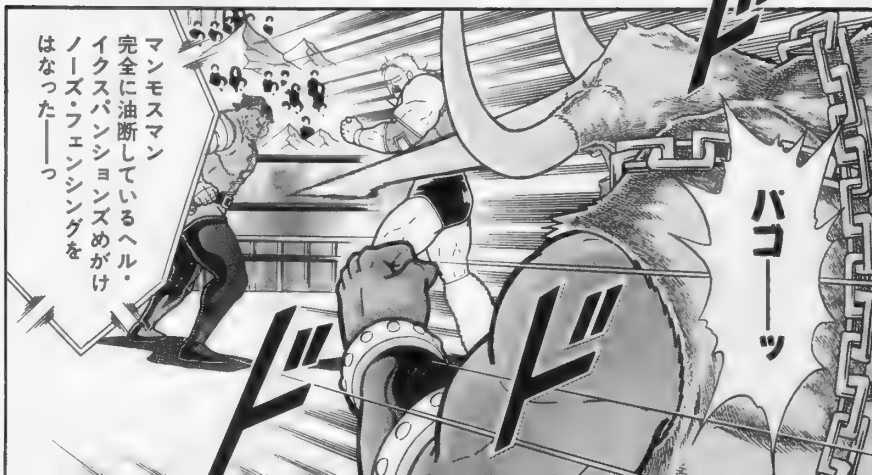
オラの格闘能力を見出し
ここまで引き上げてくれたのは
あんただから感謝してる

だども
ファイトスタイルは
血みどろの
魔道ファイトではない

正々堂々の
正義超人ファイトで
いかせてもらうだ

ぬあにィ〜ッ

ウオッ
グワッ
セイウチン これをよけきれず 僅かにくらってしまう――っ
セイウチン

なんと――っ
セイウチン深手を
負いながらも
マンモスマンの
鼻を掴む――っ
ウクォ…
フンガーーッ
そのまま
一本背負いのような
体勢でマンモスマンの体を
浮かせた――っ!!
ガガッ
キン肉マンII世
究極の超人タッグ編⑯／完

■週刊プレイボーイ・コミックス■

キン肉マンII世

究極の超人タッグ編16

2008年12月24日　第1刷発行

著者　ゆでたまご

©Yudetamago 2008

編集　ホーム社

東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号

〒101-8050　電話　東京03(5211)2651

発行人　鬼木真人

発行所　株式会社　集英社

東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号

〒101-8050　03(3230)6371（編集部）

電話　東京　03(3230)6191（販売部）

03(3230)6076（読者係）

Printed in Japan

印刷所　凸版印刷株式会社

ISBN978-4-08-857488-2 C9979